

自動車アセスメント

衝突安全性能評価

事故時に人を守る技術



2019.3 より安全な車を選びましょう!



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

自動車アセスメントの結果を活用して、より安全な車を選びましょう!

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）は、自動車事故の被害者となられた方々の支援を行う一方、自動車アセスメント事業などの自動車事故の被害者を減らすための事故防止の取り組みを行っています。このためNASVAは、歩行者、自転車に乗っている方、自動車に乗っている方など、自動車事故の被害者となり得る全ての方の立場で、自動車アセスメントによる自動車の安全性能評価を充実させていくこととしています。

具体的には、事故データの分析結果に基づき、自動車事故の被害者が多い事故形態を優先して自動車アセスメントの評価項目案として選定しています。そして、事故の被害を削減する効果が高いものに対して、より高い評価を与えるとともに、自動車メーカーが技術開発により一層の安全性能の向上を行った場合に、さらに高い評価を与えられるように試験・評価方法案を作っています。

また、国土交通省において決定された自動車アセスメントの評価項目とその試験・評価方法に基づき実施された評価の結果を、このパンフレットなどにより周知することによって、自動車を購入される際により安全な自動車を選んでいただけるように取り組んでいます。

より安全な車選びのためのチェックリスト（衝突安全性能）

自動車を購入される時には、自分や家族の好みや用途、また、コストの面から燃費性能を気にされる方が多いと思います。

しかし、万が一のときに事故から助けてくれる自動車の安全性能も大事だとは思いませんか？実は、今は自動車の安全性能を比較するなどして、より安全なクルマが選べるようになっています。

このチェックリストを活用して、より安全なクルマ選びに使用してください！

1



自動車は、事故が起きると、運転している方だけでなく、歩行者や自転車に乗っている方にも大きな被害を与えることがあります。

あなたの自動車が事故に遭うことを考えられたことはありますか？

2



お選びになった自動車には、サイドカーテンエアバッグなどの安全装置が備えられていますか？

3



自動車アセスメントのパンフレットやホームページの情報で、予防安全性能・衝突安全性能がともに良い自動車を選びましたか？

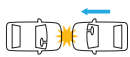
自動車アセスメントにおける 衝突安全性能評価等の試験・評価内容

自動車アセスメントでは、次のような試験を実施し、その試験結果をもとに評価を行っています。

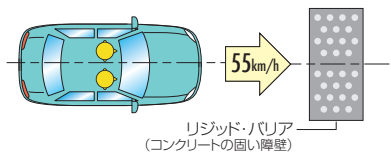
乗員及び歩行者の交通事故実態を勘案し、2011年度より乗員保護性能に歩行者保護性能を加えた衝突安全性能評価を行い、その結果を1☆から5☆までの表示により公表しています。

1 乗員保護性能評価

(1) フルラップ前面衝突試験



運転席と助手席にダミーを乗せた試験車を、時速55kmでコンクリート製の障壁（バリア）に正面衝突させます。そのときダミーの頭部、胸部等に受けた衝撃や室内の変形をもとに、乗員保護性能の度合いを評価します。

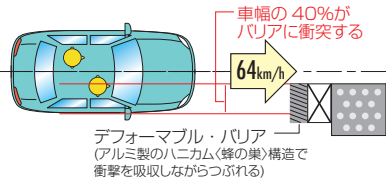


この試験は同じ車同士が正面衝突したことを模擬しています。

(2) オフセット前面衝突試験



運転席と後部座席にダミーを乗せた試験車を、時速64kmでアルミハニカムに運転席側の一部（オーバーラップ率40%）を前面衝突させます。そのときダミーの頭部、胸部等に受けた衝撃や室内の変形をもとに、乗員保護性能の度合いを評価します。



この試験は衝突を避けようとして車の半分が対向車に時速55kmで衝突したことを模擬しています。

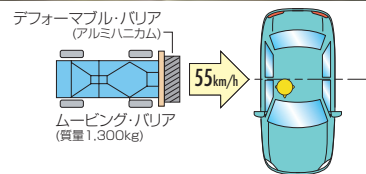


後席に乗せた女性ダミー

(3) 側面衝突試験



運転席にダミーを乗せた静止状態の試験車の運転席側に、質量1,300kg*の台車を時速55kmで衝突させます。そのときダミーの頭部、胸部、腹部、腰部に受けた衝撃をもとに、乗員保護性能の度合いを評価します。



この試験は1,300kg*の車が車の側面に衝突したことを模擬しています。

* 2017年度までは950kgの台車を使用

(4) 感電保護性能評価試験

ハイブリッド自動車等の衝突試験後の「感電保護性能要件」について評価します。

これは衝突後に乗員や救助者が高電圧部分に触れて感電しないことを評価するものです。



感電保護性能評価試験を実施し、評価基準に適合した車に付すマーク

(5) 後面衝突頸部保護性能試験



後面衝突を再現できる試験機を用いて、衝突された際の衝撃（速度変化等）をダミーを乗せた運転席または助手席に与えます。そのときの頸部が受ける衝撃をもとに、頸部保護性能を評価します。

この試験は停車中の車に時速約36kmで後面から車が衝突した（座席が前に時速20kmで急激に動く）際の衝撃を模擬しています。



2 歩行者保護性能評価

(1) 頭部保護性能試験

人の頭部を模擬したダミー（頭部インパクト）を衝撃装置により試験車のボンネット等に向けて時速40km（自動車の衝突速度は時速50km相当）で発射させ、衝撃点における頭部の傷害値を計測して、頭部の傷害の程度を5段階で評価しています。

この試験は歩行者が車に衝突し、歩行者の頭部がボンネットやフロントガラスに衝突したことを模擬しています。

なお、2015年度までは、時速35km（自動車の衝突速度は時速44km相当）で実施しています。



(2) 脚部保護性能試験

大人の男性の脚部を模擬したダミー（脚部インパクト）を衝撃装置により試験車のバンパに向けて時速40kmで発射させ、衝撃点における膝部や脛部の傷害値を計測して、脚部の傷害の程度を5段階で評価しています。

この試験は歩行者が車に衝突し、歩行者の脚部がバンパ等に衝突したことを模擬しています。

なお、2015年度までは、脚部の傷害の程度を4段階で評価しています。



3 シートベルトの着用警報装置

シートベルトの着用警報装置は、運転者以外の乗員のシートベルトの着用を促すことでシートベルトの着用率の向上を図るものです。

試験では、当該装置の作動要件（警報の種類、タイミング及び表示位置等）を確認しています。



拡大

シートベルトの着用警報装置

4 その他の評価 （2017年度まで実施*）

(1) 後席シートベルト使用性評価試験

衝突事故の際に最も有効な乗員保護装置であるシートベルトのうち後席シートベルト（窓側座席の標準位置及び最前位置）について、誰でも容易に装着できるように、シートベルトのアクセス性や快適性等の4項目によって評価しています。

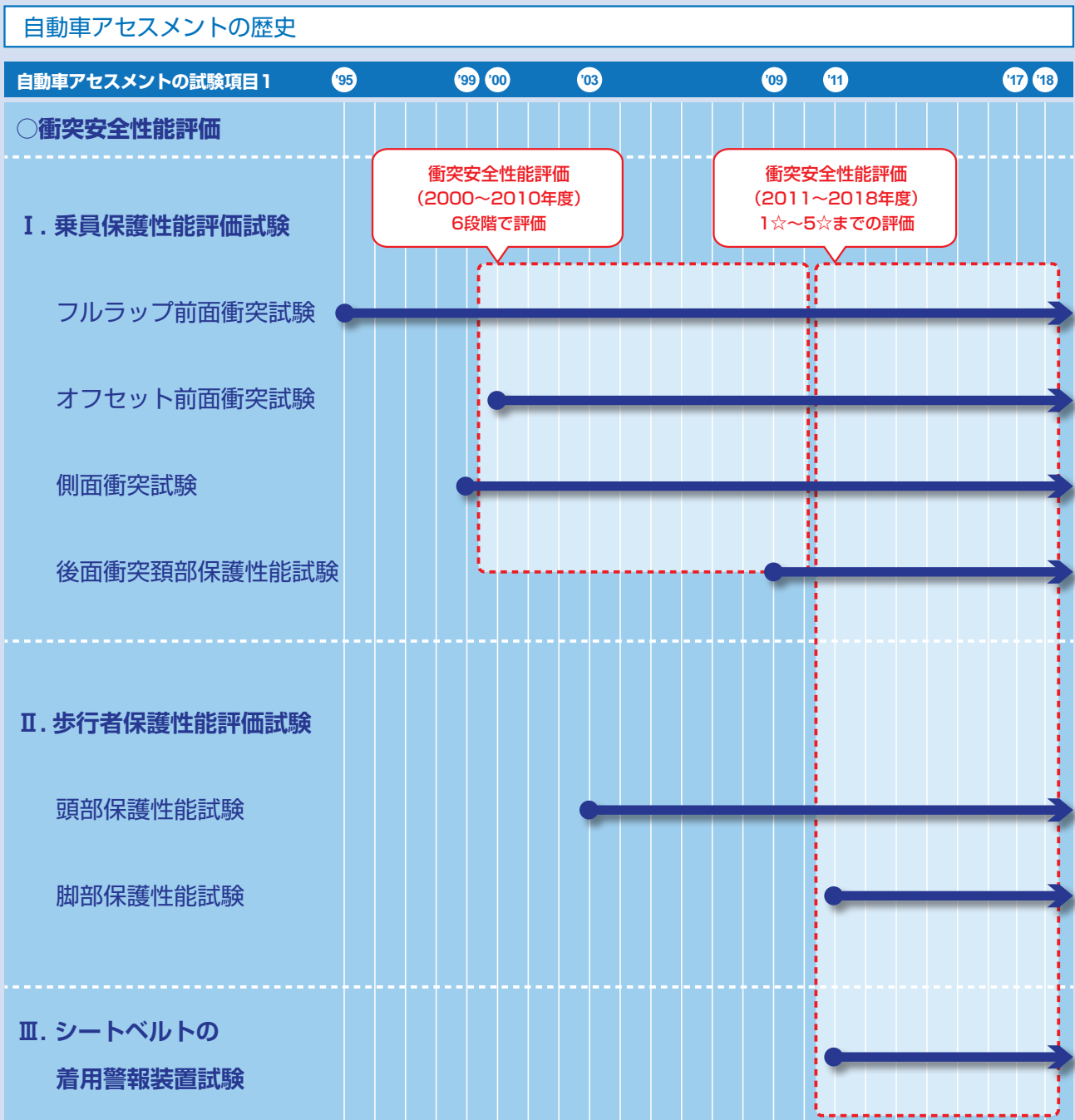


※2018年度は後席シートベルト使用性評価を実施しておりません。

試験項目の充実と変遷

1995年に実施した試験項目は、フルラップ前面衝突試験でしたが、乗員保護性能向上のために側面衝突試験やオフセット前面衝突試験が追加され、2000年からは衝突安全性能評価が開始されました。

また、歩行者保護の観点から頭部保護性能試験が2003年から開始されるとともに、2011年には脚部保護性能試験が追加されました。このため、乗員保護性能に歩行者保護性能を加えた衝突安全性能評価2011年度から開始されました。その他にも自動車アセスメント充実のため、様々な試験が実施されています。



NEW 2018年度より評価方法が新しくなりました

2018年度の評価概要（100点満点）

衝突安全性能評価の得点は、2018年度より乗員保護性能評価（59点満点）、歩行者保護性能評価（37点満点）及びシートベルトリマインダー評価（4点満点）の合計100点満点とし、得点により5段階（☆～☆☆☆☆）評価を行っています。

現在市販している自動車として当然ながら獲得すべき最低限の基礎点を53.5点とし、53.5点未満を☆、53.5点以上63.0点未満を☆☆、63.0点以上72.5点未満を☆☆☆、72.5点以上82.0点未満を☆☆☆☆、82.0点以上を☆☆☆☆☆としました。

また、最高評価の☆☆☆☆☆を獲得するための追加条件として、乗員保護性能試験の各試験及び歩行者保護性能試験において、最高評価から2段階以上下回る評価を受けた場合には☆☆☆☆☆を獲得することができません。

衝突安全性能評価の概要

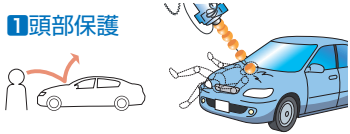
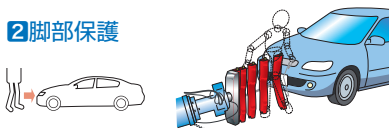
1 乗員保護性能試験

試験の得点	重み係数	総合得点
1フルラップ  (運)and(助) × 0.875 = 0~21点 0~12点		
2オフセット  (運)and(後) × 0.875 = 0~21点 0~12点		
3側面衝突  (運)and(助) × 0.625 = 0~15点 0~12点		
4後面衝突  (運)and(助) × 0.0833 = 0~2点 0~12点		

※ (運)運転席, (助)助手席, (後)後部座席

乗員保護性能評価(59点満点)


2 歩行者保護性能試験

試験の得点	重み係数	総合得点
1頭部保護  0~4点 × 8.00 = 0~32点		
2脚部保護  0~4点 × 1.25 = 0~5点		

歩行者保護性能評価(37点満点)

3 シートベルトの着用警報装置評価

試験の得点	0~100点
重み係数	×
	0.04
総合得点	
	0~4点



シートベルトの着用警報装置評価(4点満点)

衝突安全性能評価：100点満点

(公表方法)

82.0点以上	☆☆☆☆☆
72.5点以上82.0点未満	☆☆☆☆
63.0点以上72.5点未満	☆☆☆☆
53.5点以上63.0点未満	☆☆
53.5点未満	☆

【☆☆☆☆☆の必要条件】

各々の試験(シートベルトの着用警報装置評価を除く)においてレベルが3以下の場合には、最高評価の5☆を取得することができません。

2017年度までの評価概要

(1) 衝突安全性能評価（2011年度から2017年度までの評価方法）※¹

自動車の総合的な安全性能を評価し、その結果を1☆から5☆までの表示により公表しています。

乗員保護性能評価と歩行者保護性能評価の結果について事故実態を踏まえた重み係数を掛けた上で点数を加算し、シートベルトの着用警報装置評価（8点満点に換算）の合計で評価します。

下表のとおり5段階評価を行います。ただし最高評価の5☆となるためには乗員保護性能評価に係る各々の試験及び歩行者頭部保護性能試験においてレベル4以上、歩行者脚部保護性能試験においてはレベル3以上が必要です。

なお、2016年度より歩行者保護性能評価の試験方法及び評価方法が変更されたことに伴い、2016年度の評価結果は、2011年度から2015年度までの評価と同等となるように補正係数を掛けた上で1☆から5☆までの表示により公表しています。

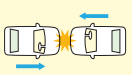
※¹ 2015年度までは「新・安全性能総合評価」と表示していました。

衝突安全性能評価の概要

1 乗員保護性能試験

試験の得点 重み係数 総合得点

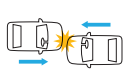
1 フルラップ



$$\text{運 and 助} \times 1.250 = 0 \sim 30 \text{点}$$

0~12点

2 オフセット



$$\text{運 and 後} \times 1.250 = 0 \sim 30 \text{点}$$

0~12点

3 側面衝突

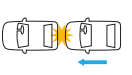


$$\text{運 and 助} \times 1.042 = 0 \sim 25 \text{点}$$

0~12点

※ サイドカーテンエアバッグが未装備の場合、座席ごとに試験結果の得点から3.5点づつ減点した得点

4 後面衝突



$$\text{運 and 助} \times 0.625 = 0 \sim 15 \text{点}$$

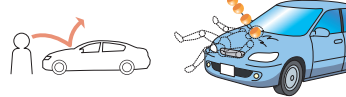
0~12点

※ (運) 運転席、(助) 助手席、(後) 後部座席

乗員保護性能評価(100点満点)

2 歩行者保護性能試験

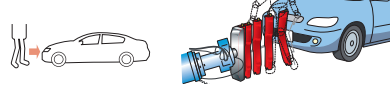
1 頭部保護



試験の得点 重み係数 総合得点

$$0 \sim 4 \text{点} \times 18.75 = 0 \sim 75 \text{点}$$

2 脚部保護



試験の得点 重み係数 速度換算係数 総合得点

$$0 \sim 4 \text{点} \times 6.25 \times 0.95 = 0 \sim 25 \text{点}$$

※¹

※¹ 試験速度を見直すまでの適用とする。

歩行者保護性能評価(100点満点)

3 シートベルトの着用警報装置評価



試験の得点 0~100点

× 0.08

|| 0~8点



シートベルトの着用警報装置評価(8点満点)

衝突安全性能評価：208点満点

(公表方法)

170.0点以上	★★★★★★
150.0点以上170.0点未満	★★★★★
130.0点以上150.0点未満	★★★★
110.0点以上130.0点未満	★★★
110.0点未満	★

【★★★★★★の必要条件】

★★★★★★を取得するためには、1乗員保護性能試験及び2-1歩行者頭部保護性能試験においてレベル4以上、2-2歩行者脚部保護性能試験においてレベル3以上が必要。

なお、2011年度の後面衝突頸部保護性能試験では薄緑色または緑色が必要。

(2) 衝突安全性能評価（2010年度までの評価方法）※²

運転席に関しては、フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験の3種類の衝突試験結果の各々の点数を合計し、6段階で評価します。助手席に関しては、フルラップ前面衝突試験、側面衝突試験（運転席または助手席の試験結果を用いる）の2種類の衝突試験結果の各々の点数を合計し、6段階で評価しています。

また、側面衝突試験においてサイドカーテンエアバッグの展開範囲及び展開状況について評価を行い、試験方法に定める基準に適合している場合に評価の数字右肩に「+」を表示します。 ※² 2015年度までは「衝突安全性能総合評価」と表示していました。

2019年3月末時点で生産・販売中の車種のみ掲載

■掲載車種索引 (五十音順、赤色の文字のクルマは2018年度試験実施車種)

スズキ

アルト	36
アルト ラパン	36
イグニス	34
エブリイ	36
クロスビー	16
ジムニー	16
スイフト	34
スペーシア	36
スペーシアカスタム	36
ソリオ	36
ソリオバンディット	36
ハスラー	34
ランディ	28
ワゴンR	34
ワゴンRスティングレー	34

スバル

インプレッサ	18
サンバーバン	38
シフォン	38
シフォンカスタム	38
ジャスティ	22
ジャスティ(SCA付)	20
ステラ	38
ステラカスタム	38
ディアスワゴン	38
フォレスター	14
プレオプラス	38
レヴォーグ	18
レガシィ	18
BRZ	24
WRX	18
XV	18

ダイハツ

アトレーワゴン	38
アルティス	14
ウェイク	38
キャスト	36
タント	38
タントカスタム	38
トール	22
トール(SCA付)	20

ハイゼットカーゴ	38
ブーン	24
ブーン(SCA付)	20
ミライース	38
ミラトコット	16
ムーヴ	38
ムーヴカスタム	38
ムーヴキャンバス	38
メビウス	22

トヨタ

アクア	24
アリオン	26
アルファード	22
ヴィッツ	24
ヴェルファイア	22
ヴォクシー	22
ヴォクシー(SCA付)	20
エスクァイア	22
エスクァイア(SCA付)	20
エスティマ	26
カローラアクシオ	22
カローラスポーツ	14
カローラフィールダー	22
カムリ	14
クラウン	14
サクシード	40
シエンタ	24
シエンタ(SCA付)	22
スペイド	24
タンク	22
タンク(SCA付)	20
ノア	22
ノア(SCA付)	20
パッソ	24
パッソ(SCA付)	20
ハリアー	22
ピクシスエポック	38
ピクシスジョイ	36
ピクシスバン	38
ピクシスメガ	38
プリウス	20
プリウスPHV	20
プリウスα	22

プレミオ	26
プロボックスバン	40
ポルテ	24
マークX	26
ランドクルーザープラド	24
ルーミー	22
ルーミー (SCA 付)	20
C-HR	20
JPN TAXI	20
86	24

日産

エクストレイル	28
エルグランド	28
キューブ	30
ジューク	30
シルフィ	28
セレナ	28
ティアナ	28
デイズ ルークス	30
デイズ ルークス ハイウェイスター	30
ノート	28
マーチ	30
リーフ	28
NV100クリッパー	36
NV100クリッパー リオ	36
NV150 AD	40
NV200バネット	40

ホンダ

アコード ハイブリッド	32
ヴェゼル	30
オデッセイ	14
グレイス	30
シビック	32
ジェイド	32
シャトル	32
ステップワゴン	32
フィット	32
フリード	34
フリード+	34
CR-V	14
N-BOX	30
N-BOX カスタム	30
N-ONE	34
N-VAN	16
N-WGN	32

N-WGN カスタム	32
------------	----

マツダ

アテンザ	20
キャロル	36
スクラム	36
デミオ	18
ファミリアバン	40
フレア	34
フレアクロスオーバー	34
フレアワゴン	36
フレアワゴン カスタムスタイル	36
ボンゴバン	40
CX-3	18
CX-5	18
CX-8	18

三菱

アウトランダー	26
アウトランダー PHEV	26
エクリプス クロス	14
タウンボックス	36
デリカD:5	26
デリカD:2	36
デリカD:2 カスタム	36
ミニキャブ バン	36
ミラージュ	26
eKスペース	30
eKスペースカスタム	30
RVR	26

レクサス

CT200h	34
--------	----

アウディ

A1	38
----	----

アバルト

595	40
595C	40

フィアット

500	40
500C	40

フォルクスワーゲン

ゴルフ	36
-----	----

衝突安全性能評価

①

軽自動車等

メーカー名 車種名

②

★★★★★
92.0点

③

2018
衝突安全性能評価
ファイブスター賞
Jncap
自動車アセスメント

④

2018
予防安全性能
ASV+++
AWARD
Jncap
自動車アセスメント

① 試験車の種類

- 軽自動車
- 商用車
- 乗用車・電気自動車等

② 衝突安全性能評価結果

歩行者保護性能評価、乗員保護性能評価、シートベルトの着用警報装置評価の得点をもとに★の数を表示しています。(5段階評価)
★の数が多いほど、乗員や歩行者に対する傷害は軽くなります。

③ 衝突安全性能評価ファイブスター賞

衝突安全性能評価において最高評価(★★★★★)を受けた車種を表示しています。

④ 予防安全性能評価の結果

予防安全性能評価を実施した結果を、「ASV+」、「ASV++」、「ASV+++」で表示しています。

⑤ 歩行者頭部保護性能試験の結果

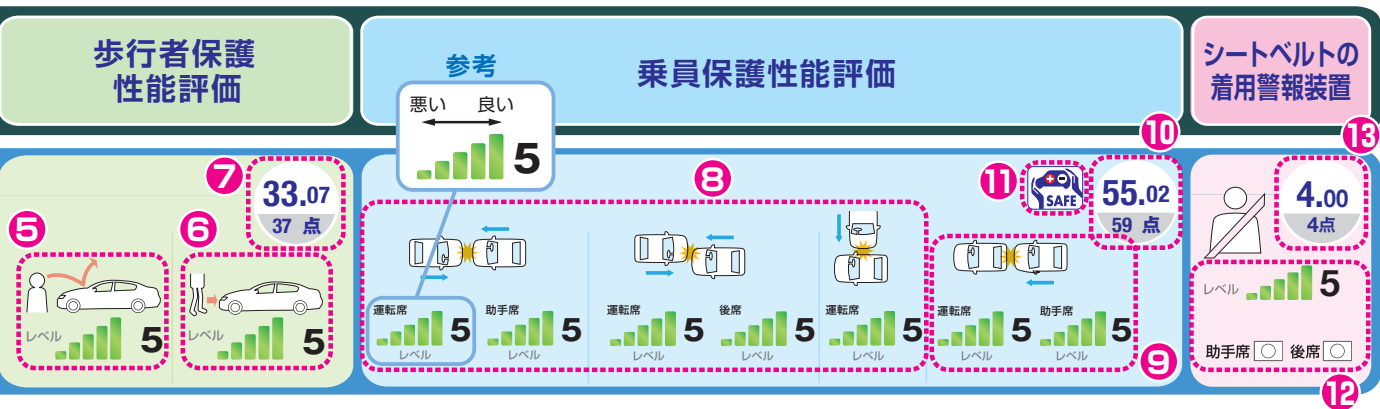


試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者頭部保護性能が高いことを表示しています。

⑥ 歩行者脚部保護性能試験の結果



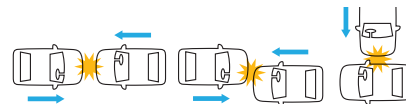
試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者脚部保護性能が高いことを表示しています。



7 歩行者保護性能評価の得点

歩行者頭部保護性能試験と歩行者脚部保護性能試験をもとに37点満点で表しています。

8 前面・側面衝突試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど乗員保護性能が高いことを表しています。

9 後面衝突頸部保護性能試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど乗員保護性能が高いことを表しています。

10 乗員保護性能評価の得点

フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験及び後面衝突頸部保護性能試験をもとに59点満点で表しています。

11 衝突後の感電保護性能評価試験結果

感電保護性能評価試験を実施し、評価基準に適合したものを表しています。

12 シートベルトの着用警報装置試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど非着用時の警報効果が高いことを表しています。
助手席及び後席ごとのシートベルトの着用警報装置の装備の状況を表しています。

13 シートベルトの着用警報装置評価の得点

シートベルトの着用警報装置試験をもとに4点満点で表しています。

2017年度までの評価結果の見方



1 試験車の種類

■ 軽自動車

■ 商用車

■ 乗用車・電気自動車等

2 サイドカーテンエアバッグ評価の実施

側面衝突試験において、サイドカーテンエアバッグ(SCA)の評価を行ったことを表しています。

3 衝突後の感電保護性能評価試験結果

感電保護性能評価試験を実施し、評価基準に適合したものを表しています。

4 予防安全性能評価の結果

予防安全性能評価を実施した結果を、「ASV」、「ASV+」、「ASV++」で表しています。

5 衝突安全性能評価ファイブスター賞

衝突安全性能評価において最高評価(★★★★★)を受けた車種を表しています。

6 衝突安全性能評価結果

歩行者保護性能評価、乗員保護性能評価、シートベルトの着用警報装置評価の得点をもとに★の数を表しています。(5段階評価)

★の数が多いほど、乗員や歩行者に対する傷害は軽くなります。

なお、2011年度以降に試験を実施した車種について表示しています。

7 歩行者頭部保護性能試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいかいほど歩行者頭部保護性能が高いことを表しています。

8 歩行者脚部保護性能試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいかいほど歩行者脚部保護性能が高いことを表しています。

なお、2015年度までは試験結果を4段階で表示しています。

9 歩行者保護性能評価の得点

歩行者頭部保護性能試験と歩行者脚部保護性能試験をもとに100点満点で表しています。

10 前面・側面衝突試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいかいほど乗員保護性能が高いことを表しています。

参考

悪い ← 良い



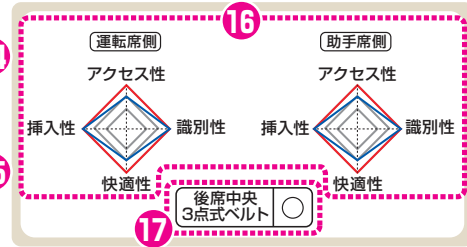
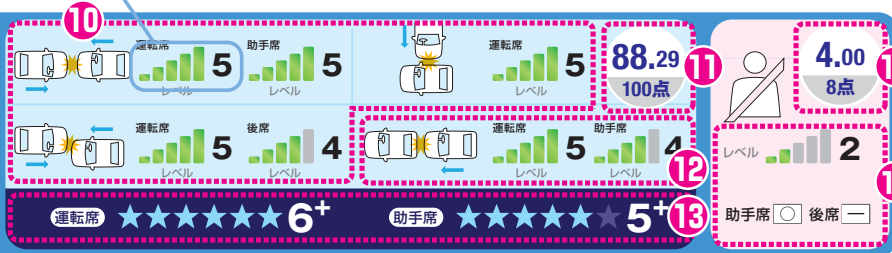
乗員保護性能評価



試験等実施当時に試験及び評価の対象外の項目については、グレーアウトとしております。

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



11 乗員保護性能評価の得点

フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験及び後面衝突頸部保護性能試験をもとに100点満点で表しています。

12 後面衝突頸部保護性能試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど乗員保護性能が高いことを表しています。2011年度までは、オレンジ色、黄色、薄緑色、緑色の4段階で表示し、緑色が最も後面衝突頸部保護性能が高いことを表しています。

13 衝突安全性能評価【2010年度まで】

フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の得点をもとに★の数を表しています。(6段階評価) ★の数が多いほど、乗員に対する傷害は軽くなります。なお、2011年度以降に評価を実施した車種には表示がありません。数字の右肩の「+」は試験法に定める基準に適合したサイドカーテンエアバッグが装着されていることを表しています。

14 シートベルトの着用警報装置評価の得点

シートベルトの着用警報装置試験をもとに8点満点で表しています。

15 シートベルトの着用警報装置試験の結果



試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど非着用時の警報効果が高いことを表しています。助手席及び後席ごとのシートベルトの着用警報装置の装備の状況を表しています。

16 後席シートベルト使用性評価の結果

2列目シートのシートベルトのアクセシビリティ、バックルの識別性、バックルのタンクへの挿入性及びシートベルト装着時の快適性について、3段階で表しています。評価段が大きいほど、シートベルトの使用性評価が高いことを示しています。赤線はシートポジションが標準位置、青線はシートポジションを前方に移動した位置における評価を表しています。

17 後席中央3点式シートベルトの装備状況

2列目シートの中央席に3点式シートベルトが装着されていることを表しています。中央席がない場合はこの表示はありません。

○：装備あり
-：装備なし

衝突安全性能評価

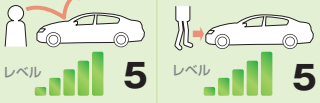
電気自動車等	スバル フォレスター		 96.5点		
電気自動車等	トヨタ クラウン		 96.5点		
電気自動車等	トヨタ カローラ スポーツ		 87.8点		
電気自動車等	トヨタ カムリ タイハツ アルティス		 85.5点		
乗用車	三菱 エクリプス クロス		 89.7点		
乗用車	ホンダ CR-V		 85.9点		
電気自動車等	ホンダ オデッセイ		 83.9点		

歩行者保護
性能評価

乗員保護性能評価

シートベルトの
着用警報装置

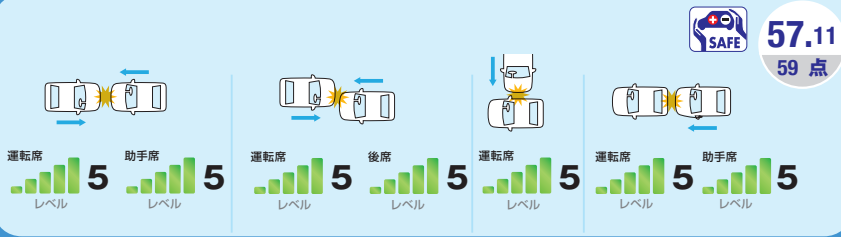
34.08
37点



4.00
4点



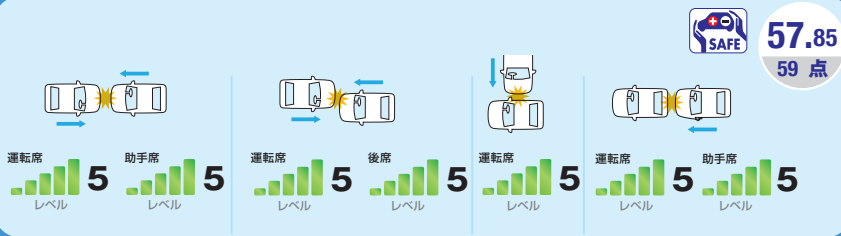
36.51
37点



2.92
4点



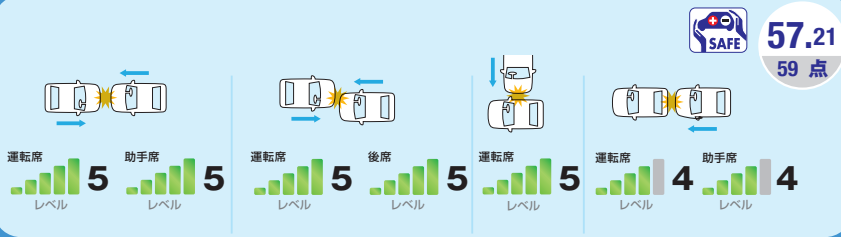
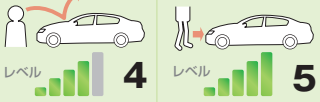
27.48
37点



2.50
4点



26.32
37点



2.00
4点



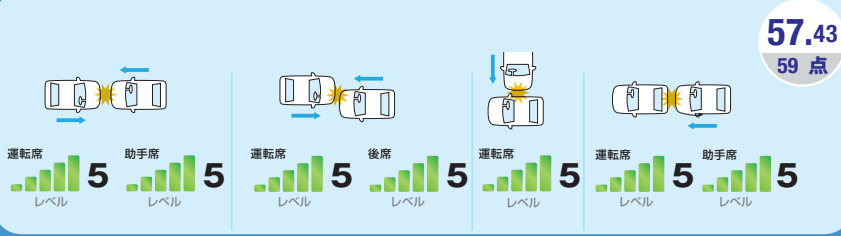
29.96
37点



2.83
4点



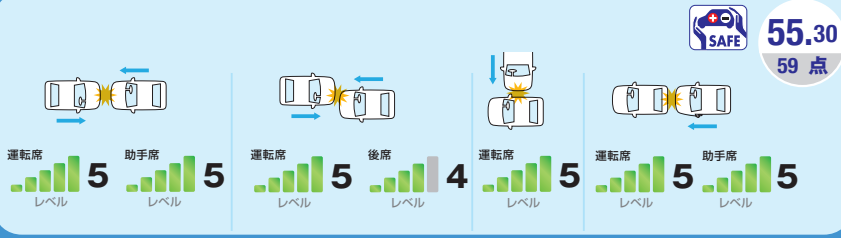
26.02
37点



2.50
4点



26.61
37点



2.00
4点



衝突安全性能評価

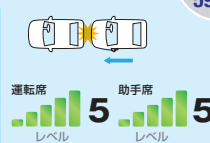
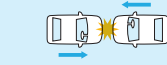
乗用車	スズキ クロスビー		 85.2点		
軽自動車	スズキ ジムニー		 81.4点		
軽自動車	ダイハツ ミラ トコット		 81.5点		
商用車	ホンダ N-VAN		 78.5点		

歩行者保護
性能評価

乗員保護性能評価

シートベルトの
着用警報装置

29.25
37点



54.02
59点

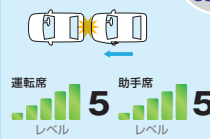
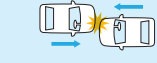


2.00
4点

レベル 2

助手席 後席

23.70
37点



53.71
59点

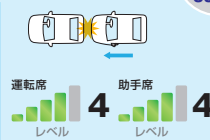
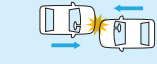
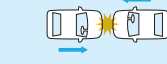


4.00
4点

レベル 5

助手席 後席

28.24
37点



50.34
59点

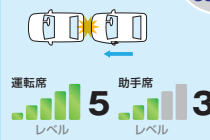
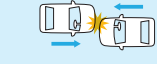
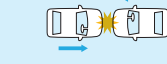
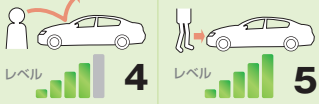


3.00
4点

レベル 4

助手席 後席

26.16
37点



50.38
59点



2.00
4点

レベル 2

助手席 後席

2017年度以前の評価結果

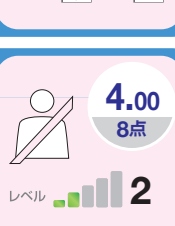
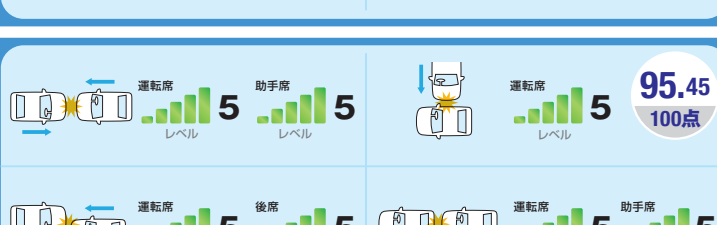
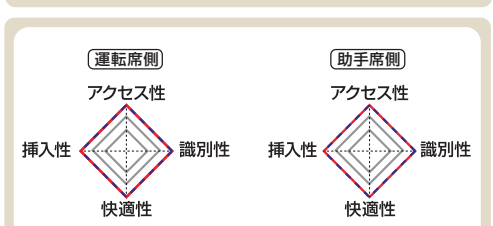
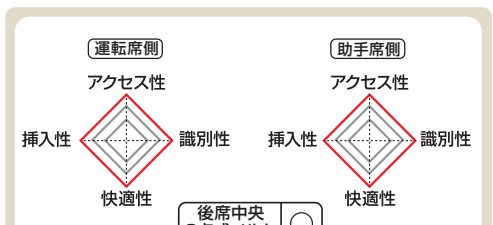
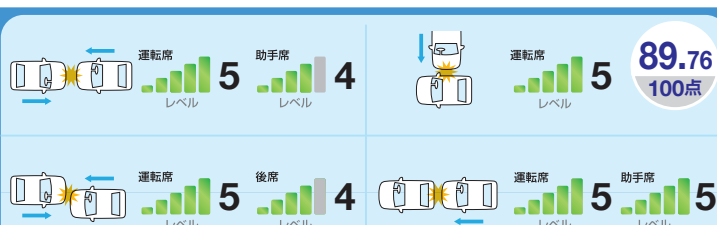
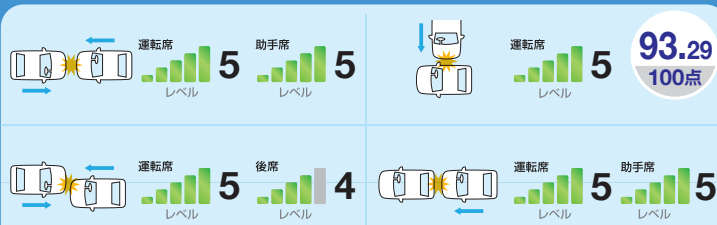
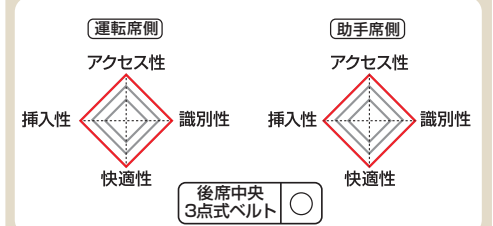
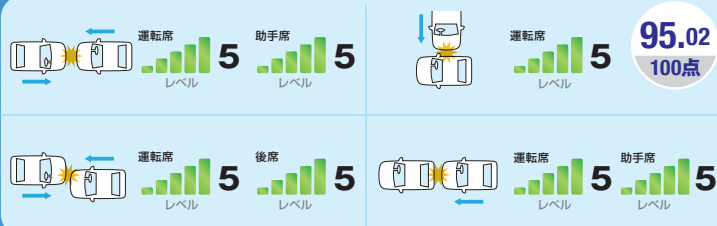
車種		衝突安全性性能評価		歩行者保護性能評価	
乗用車	スバル インプレッサ/XV		 199.7点 ※	 レベル 5	96.07 100点
乗用車	スバル レガシイ		 188.8点	 レベル 5	89.59 100点
乗用車	スバル レヴォーグ/WRX		 183.8点	 レベル 5	86.91 100点
乗用車	マツダ CX-8		 193.9点 ※	 レベル 5	90.23 100点
乗用車	マツダ CX-3		 188.2点	 レベル 5	91.62 100点
乗用車	マツダ CX-5		 187.3点 ※	 レベル 4	81.12 100点
乗用車	マツダ デミオ		 185.7点	 レベル 5	88.50 100点

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

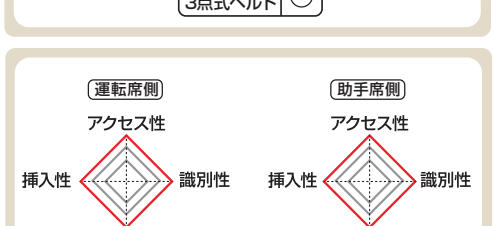
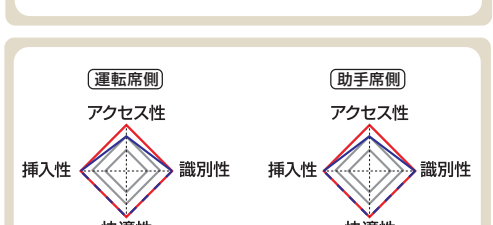
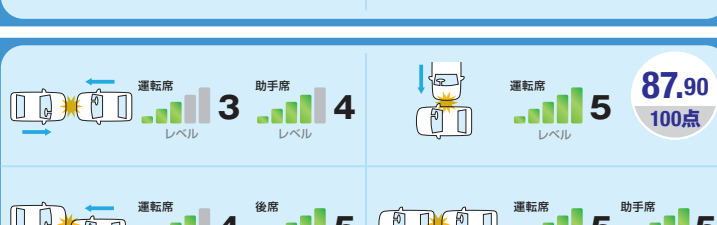
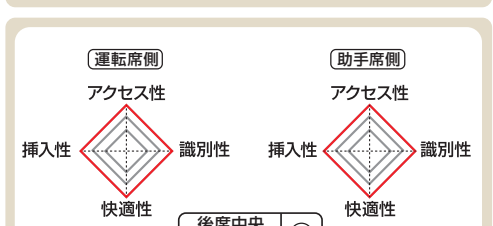
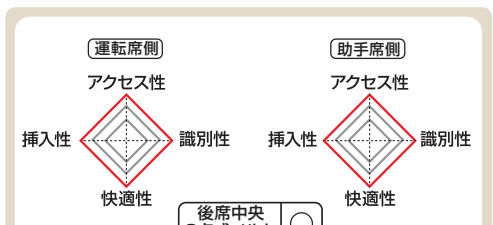
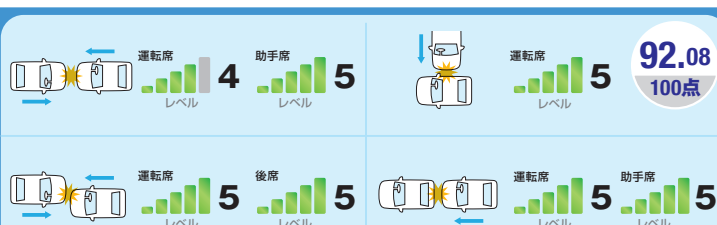
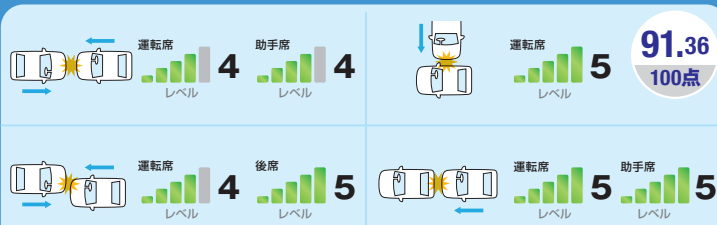
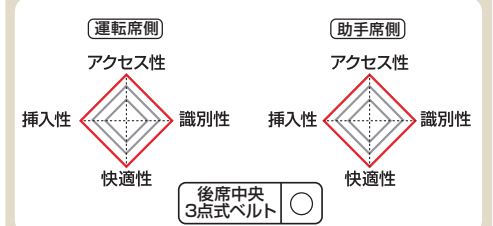
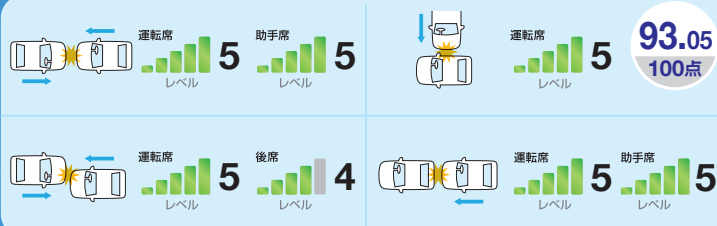
車種		衝突安全性性能評価		歩行者保護性能評価	
乗用車	マツダ アテンザ		 183.2点	 レベル 5 86.20 / 100点	 レベル 4
電気自動車等	トヨタ C-HR		 185.8点*	 レベル 4 82.71 / 100点	 レベル 5
電気自動車等	トヨタ プリウス/プリウスPHV		 183.6点*	 レベル 4 80.58 / 100点	 レベル 5
電気自動車等	トヨタ JPN TAXI		 182.9点*	 レベル 4 78.59 / 100点	 レベル 5
乗用車	トヨタ ヴォクシー/ノア/エスクァイア(SCA付)		 182.3点	 レベル 5 87.42 / 100点	 レベル 4
乗用車	トヨタ ルーミー/タンク(SCA付) ダイハツ トール(SCA付) スバル ジャスティ(SCA付)		 180.3点*	 レベル 4 78.70 / 100点	 レベル 5
乗用車	トヨタ パッツ(SCA付) ダイハツ ブーン(SCA付)		 179.2点*	 レベル 4 71.78 / 100点	 レベル 3

*歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

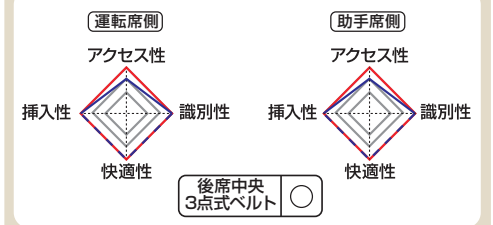
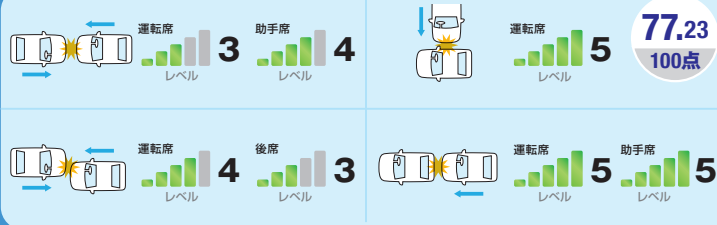
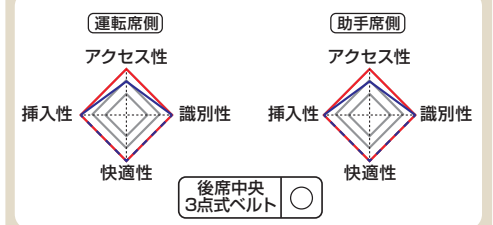
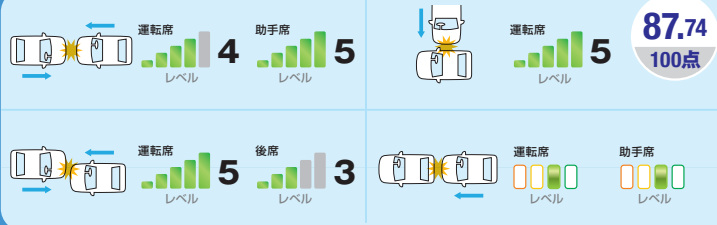
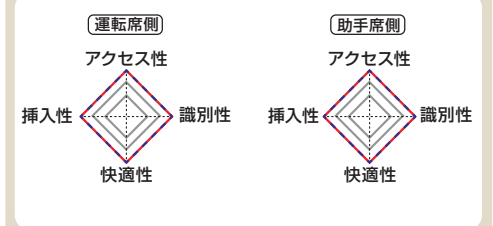
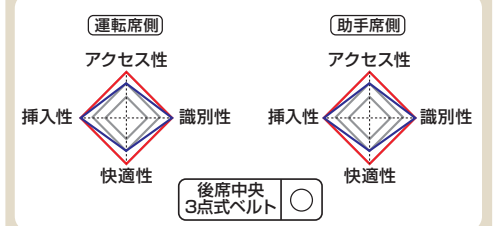
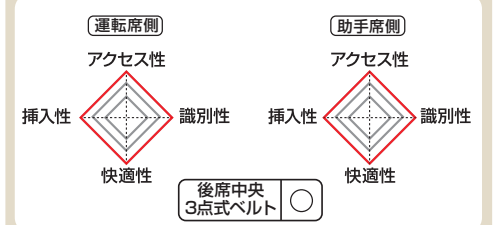
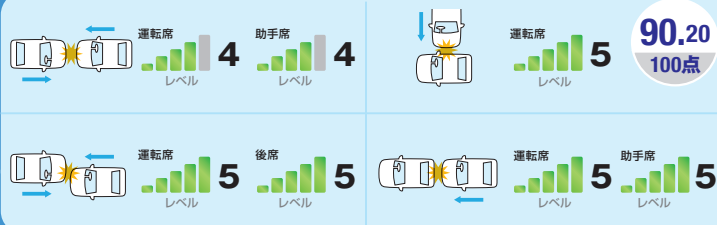
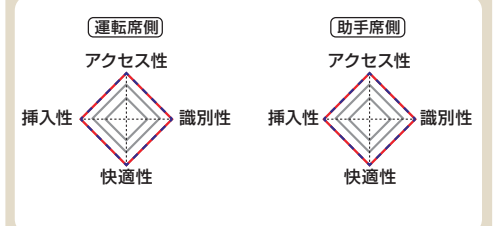
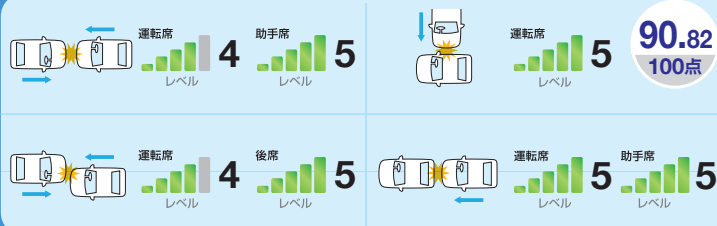
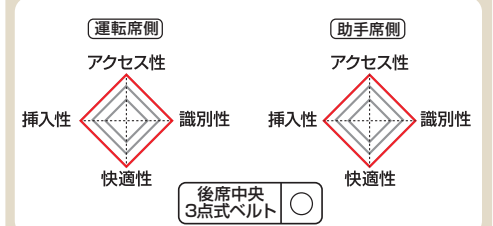
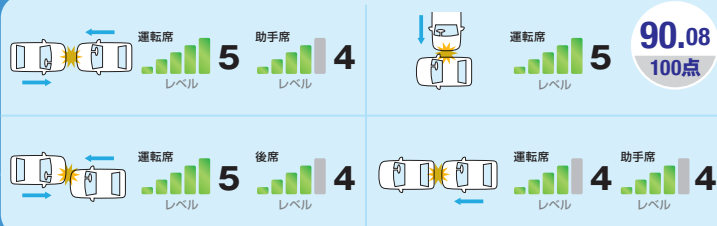
車種		衝突安全性能評価		歩行者保護性能評価	
乗用車	トヨタ ハリアー			178.8点 ★★★★★	84.79 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	トヨタ ヴェルファイア/アルファード			178.4点※ ★★★★★	73.99 100点 レベル 4 レベル 5
乗用車	トヨタ カローラ フィールダー/カローラ アクシオ			178.4点 ★★★★★	84.27 100点 レベル 4 レベル 4
電気自動車等	トヨタ シエンタ(SCA付)			175.8点 ★★★★★	79.91 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	トヨタ ヴォクシー/ノア/エスクァイア			175.0点 ★★★★★	87.42 100点 レベル 5 レベル 4
電気自動車等	トヨタ プリウスα ダイハツ メビウス			173.1点 ★★★★☆	81.39 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	トヨタ ルーミー/タンク ダイハツ トール スバル ジャスティ			169.6点※ ★★★★☆	78.70 100点 レベル 4 レベル 5

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

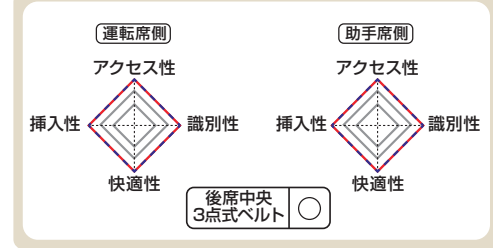
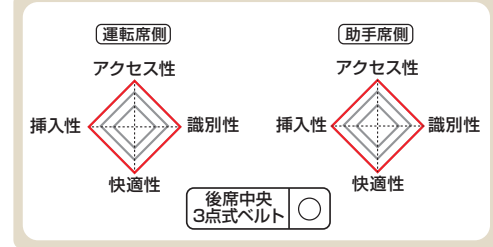
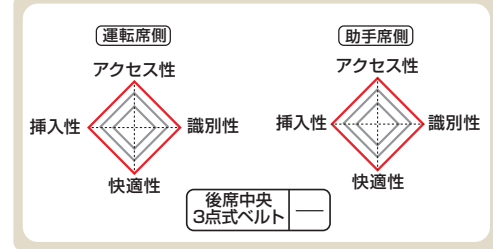
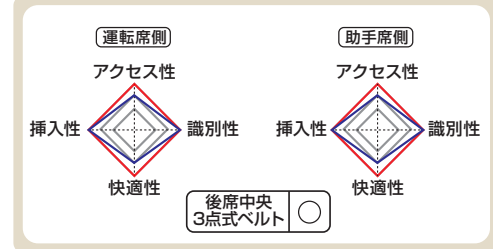
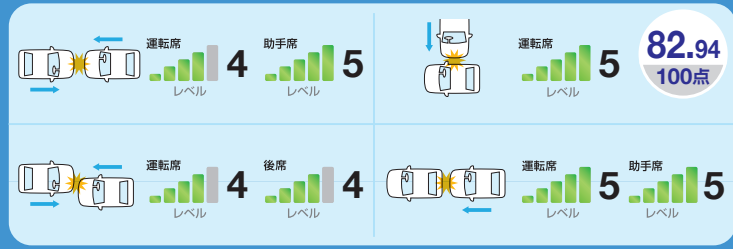
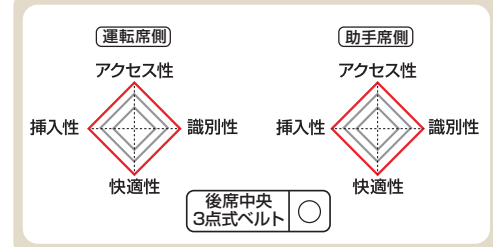
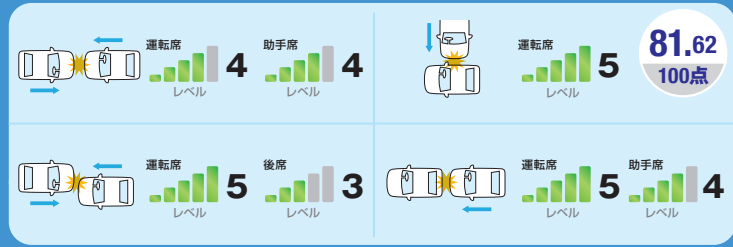
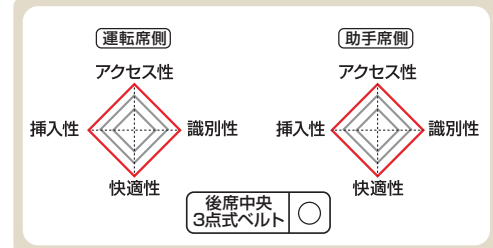
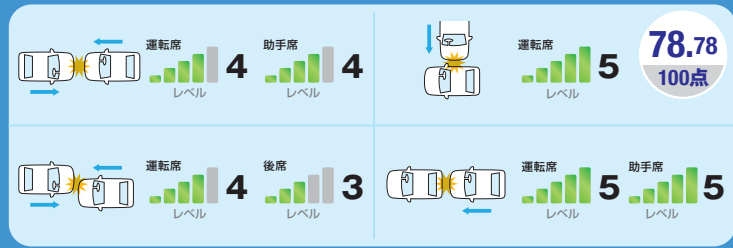
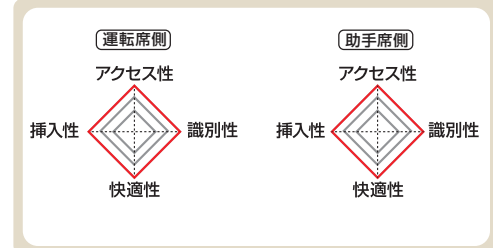
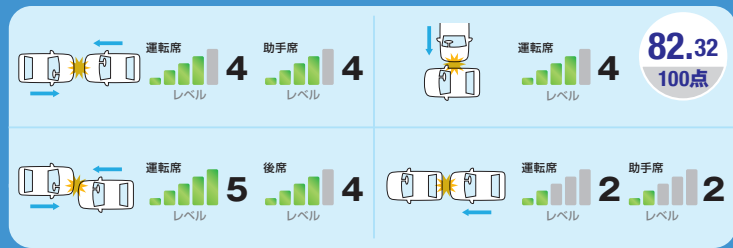
車種		衝突安全性能評価	歩行者保護性能評価
乗用車	トヨタ 86 スバル BRZ	 168.8点	82.49 / 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	トヨタ パッソ ダイハツ ブーン	 168.5点※	71.78 / 100点 レベル 4 レベル 3
乗用車	トヨタ スペイド/ポルテ	 167.2点	81.65 / 100点 レベル 4 レベル 4
電気自動車等	トヨタ シエンタ	 166.8点	79.91 / 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	トヨタ ヴィッツ	 166.5点	82.05 / 100点 レベル 4 レベル 4
電気自動車等	トヨタ アクア	 165.3点	82.25 / 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	トヨタ ランドクルーザープラド	2010年度以前の 評価車種です。	レベル 5 レベル

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※2010年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

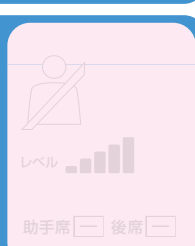
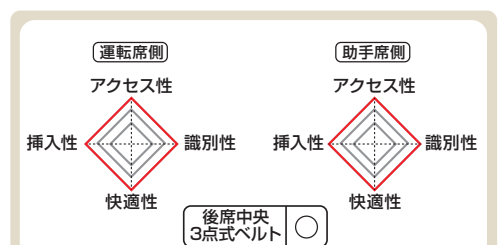
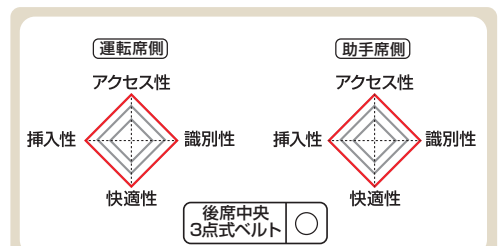
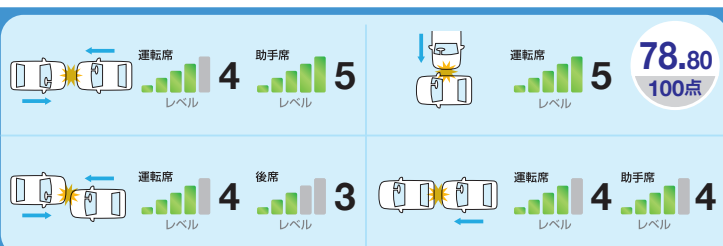
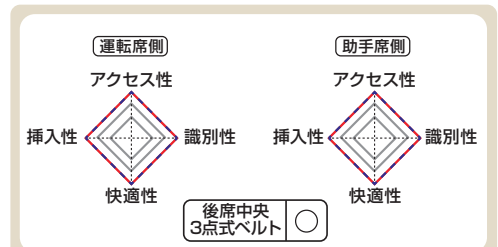
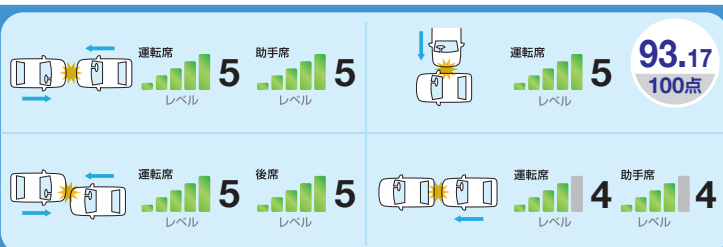
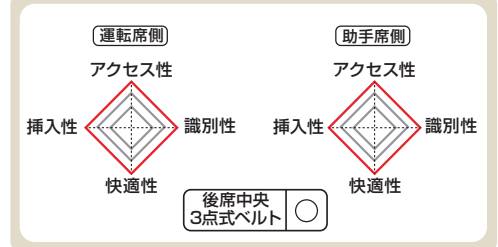
2017年度以前の評価結果

車種		衝突安全性能評価	歩行者保護性能評価
トヨタ マークX 		2010年度以前の 評価車種です。	レベル 4
トヨタ プレミオ/アリオン 		2010年度以前の 評価車種です。	レベル 4
トヨタ エスティマ 		2010年度以前の 評価車種です。	レベル 5
三菱 アウトランダー PHEV/アウトランダー 		184.6点	レベル 5 レベル 4 85.61 100点
三菱 ミラージュ 		163.4点	レベル 4 レベル 4 84.62 100点
三菱 RVR 		2010年度以前の 評価車種です。	レベル 4
三菱 デリカD:5 		2010年度以前の 評価車種です。	レベル 3

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※2010年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行いました。

2017年度以前の評価結果

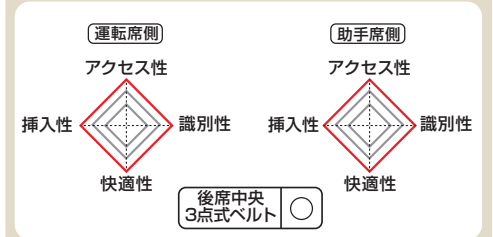
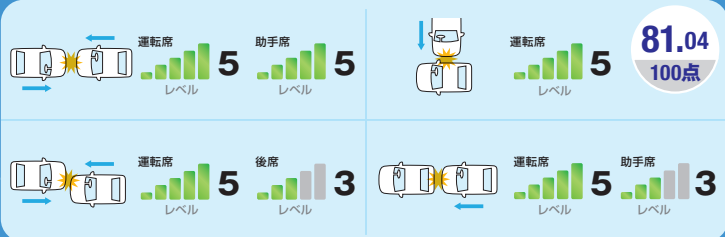
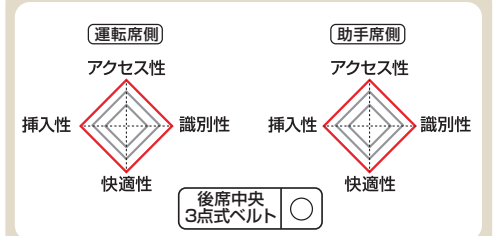
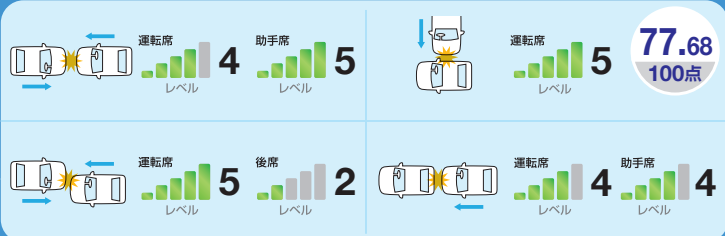
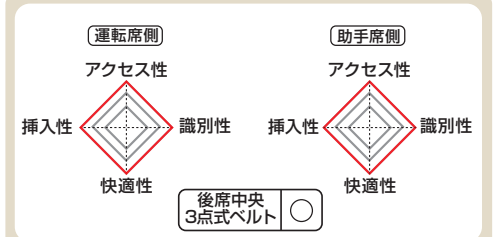
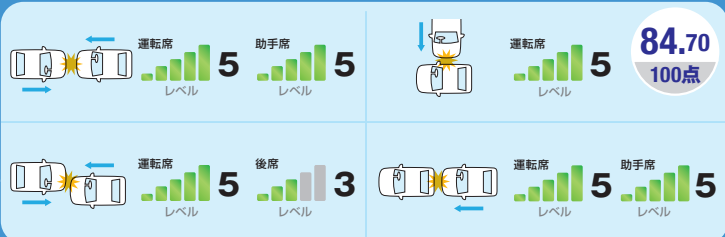
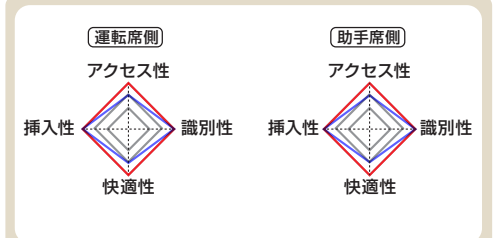
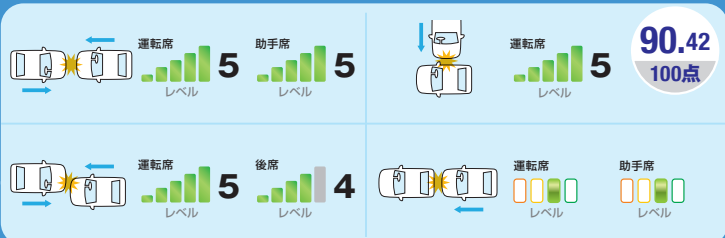
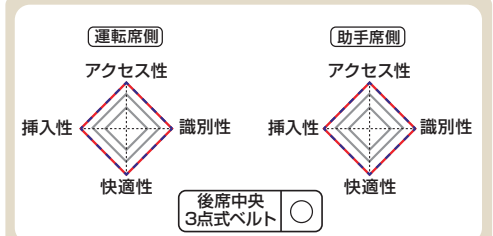
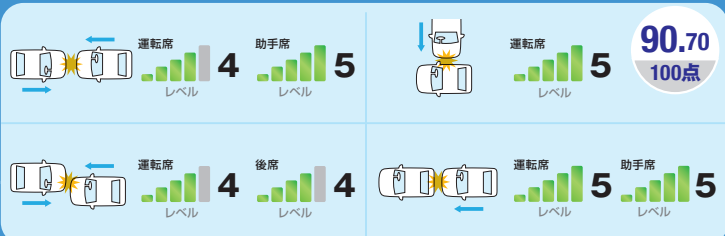
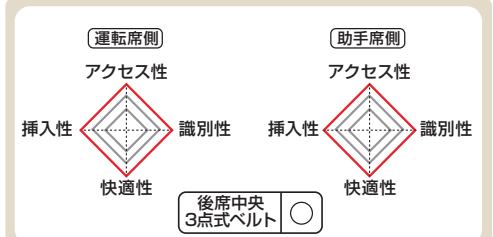
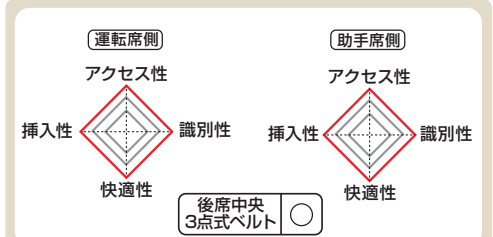
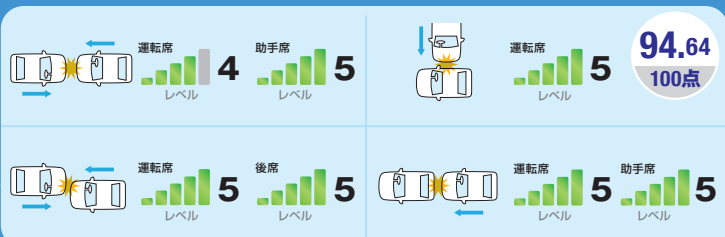
車種		衝突安全性性能評価		歩行者保護性能評価	
乗用車	日産 ティアナ		★★★★★ 184.4点	歩行者保護 レベル 4 83.77 / 100点	歩行者保護 レベル 4
電気自動車等	日産 リーフ		★★★★★ 179.4点*	歩行者保護 レベル 3 67.82 / 100点	歩行者保護 レベル 5
乗用車	日産 セレナ ススキ ランディ		★★★★★ 175.8点*	歩行者保護 レベル 4 75.06 / 100点	歩行者保護 レベル 5
乗用車	日産 エルグランド		★★★★★ 173.1点	歩行者保護 レベル 4 82.71 / 100点	歩行者保護 レベル 4
乗用車	日産 エクストレイル		★★★★☆ 173.0点	歩行者保護 レベル 5 88.38 / 100点	歩行者保護 レベル 4
乗用車	日産 シルフィ		★★★★☆ 162.9点	歩行者保護 レベル 4 85.27 / 100点	歩行者保護 レベル 4
乗用車	日産 ノート		★★★★☆ 162.3点	歩行者保護 レベル 4 81.27 / 100点	歩行者保護 レベル 4

*歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

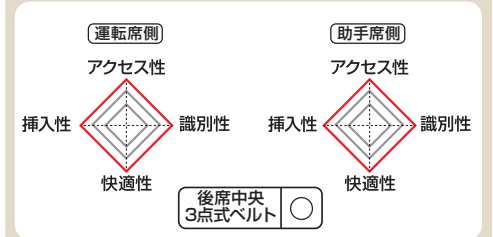
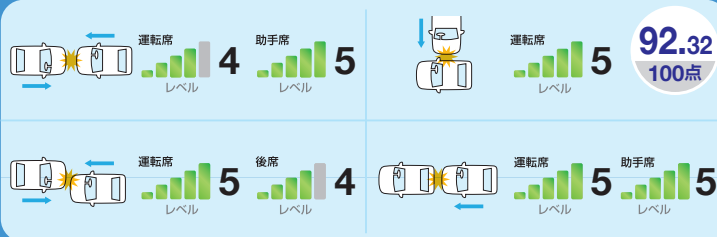
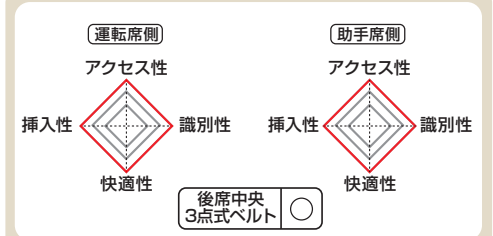
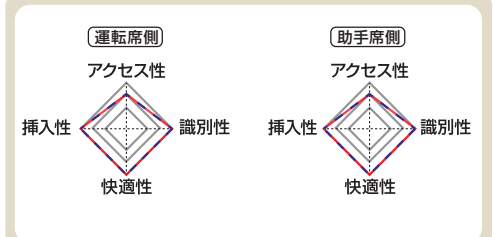
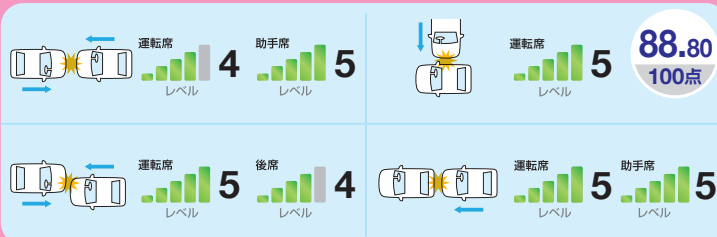
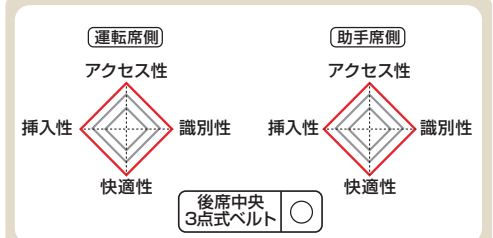
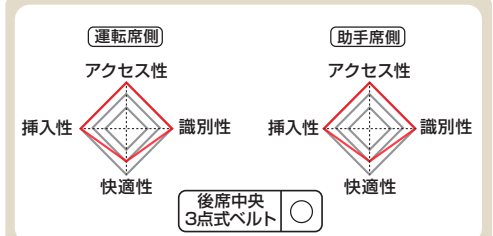
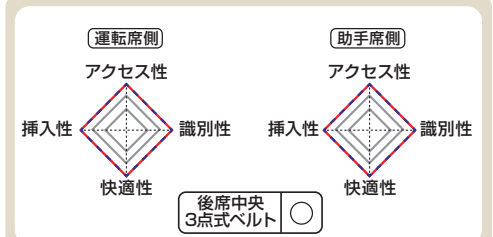
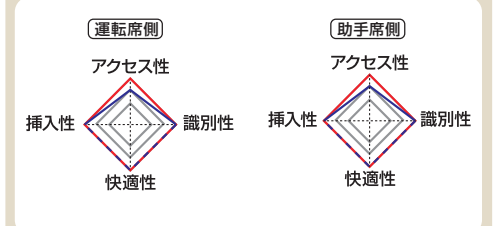
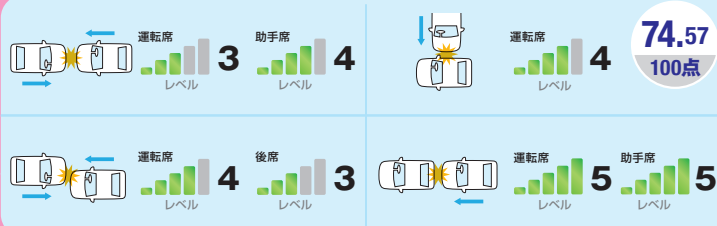
車種		衝突安全性能評価	歩行者保護性能評価
<p>軽自動車</p> <p>日産 デイズルークスハイウェイスター/デイズルークス 三菱 eKスペースカスタム/eKスペース</p>	<p>159.5点</p>	<p>81.01 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 4</p>	
<p>乗用車</p> <p>日産 キューブ</p>	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 3</p> <p>レベル</p>	
<p>乗用車</p> <p>日産 ジューク</p>	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 5</p> <p>レベル</p>	
<p>乗用車</p> <p>日産 マーチ</p>	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 4</p> <p>レベル</p>	
<p>軽自動車</p> <p>ホンダ N-BOX/N-BOX カスタム</p>	<p>184.1点※</p>	<p>83.67 100点</p> <p>レベル 5</p> <p>レベル 5</p>	
<p>電気自動車等</p> <p>ホンダ ヴェゼル</p>	<p>183.7点</p>	<p>86.75 100点</p> <p>レベル 5</p> <p>レベル 4</p>	
<p>電気自動車等</p> <p>ホンダ グレイス</p>	<p>181.0点</p>	<p>84.70 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 4</p>	

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※2010年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

2017年度以前の評価結果

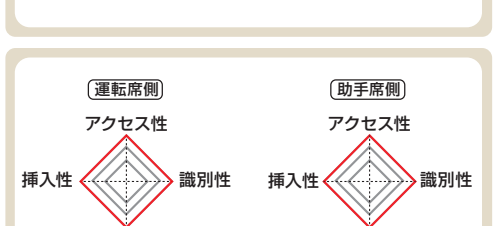
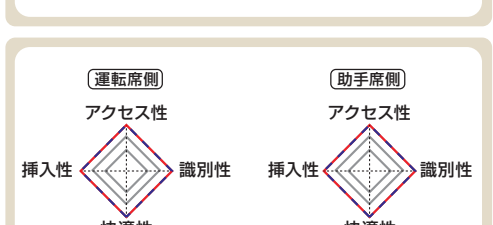
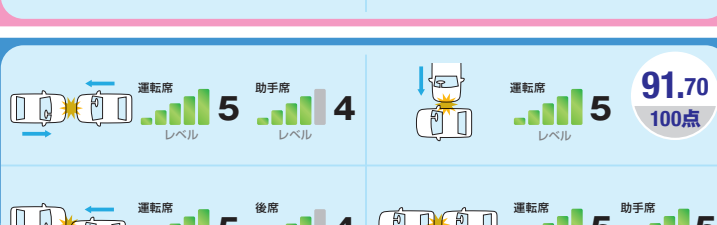
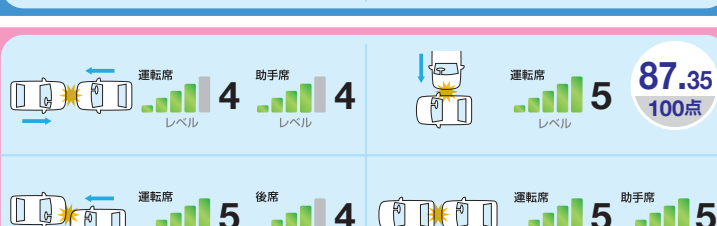
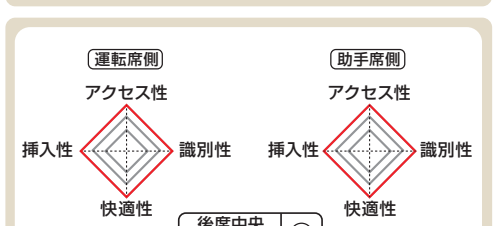
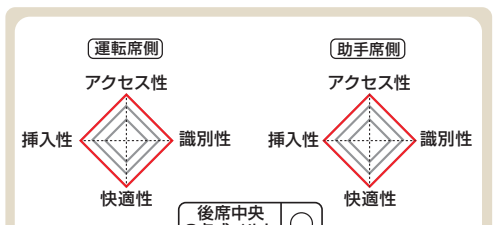
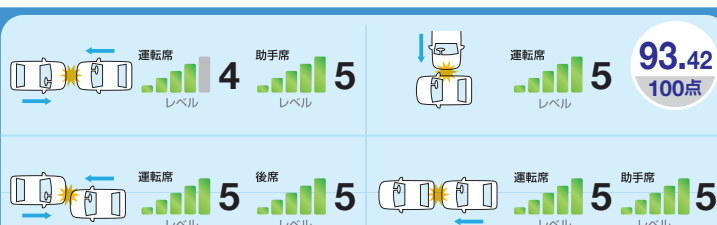
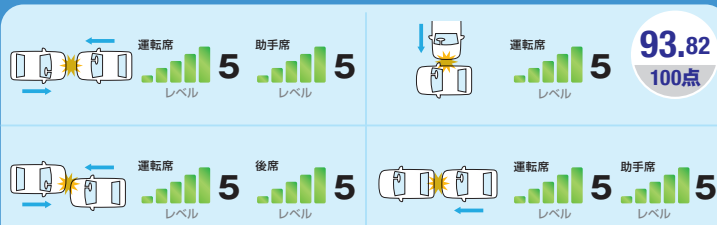
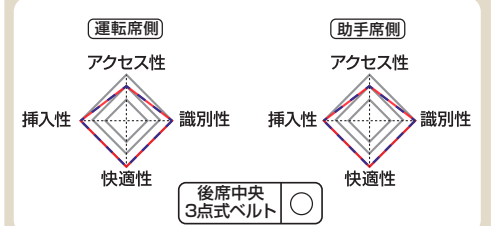
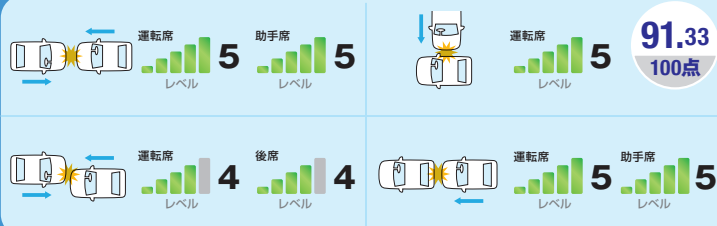
車種		衝突安全性評価		歩行者保護性能評価	
電気自動車等	ホンダ ステップワゴン	 2017 予防安全性 ASV+ Jncap	2017 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap 自動車アセスメント	180.9点※ ★★★★★★★★	77.21 100点 レベル 4 レベル 5
乗用車	ホンダ シビック	 2017 予防安全性 ASV+ Jncap	2017 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap 自動車アセスメント	180.8点※ ★★★★★★★★	69.49 100点 レベル 4 レベル 3
電気自動車等	ホンダ シャトル	 2011 ASV+ 先進安全車 Jncap	2015-2016 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap	180.1点 ★★★★★★★★	82.71 100点 レベル 4 レベル 4
電気自動車等	ホンダ アコード ハイブリッド	 2013-2014 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap	2013-2014 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap	178.9点 ★★★★★★★★	79.46 100点 レベル 4 レベル 4
軽自動車	ホンダ N-WGN/N-WGN カスタム	 2011 ASV+ 先進安全車 Jncap	2013-2014 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap	178.8点 ★★★★★★★★	85.50 100点 レベル 4 レベル 4
電気自動車等	ホンダ ジェイド	 2011 ASV+ 先進安全車 Jncap	2015-2016 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap	178.2点 ★★★★★★★★	82.50 100点 レベル 4 レベル 4
電気自動車等	ホンダ フィット	 2017 予防安全性 ASV+ Jncap	2013-2014 Jncap PRE STAR AWARD 衝突安全性総合評価 ファイブスター賞 Jncap	178.0点 ★★★★★★★★	81.41 100点 レベル 4 レベル 4

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

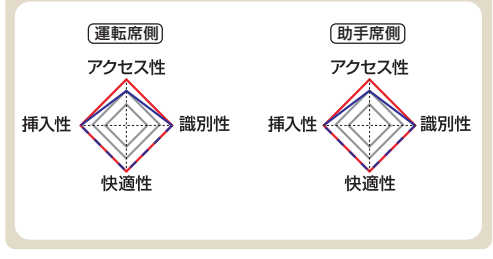
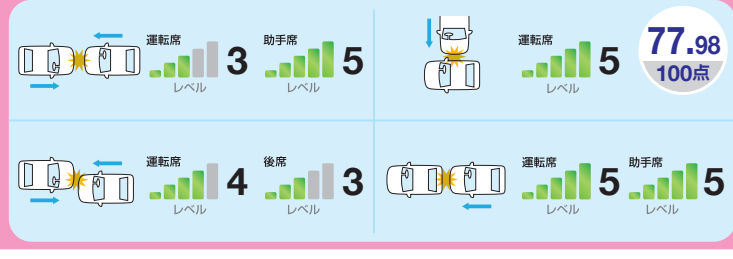
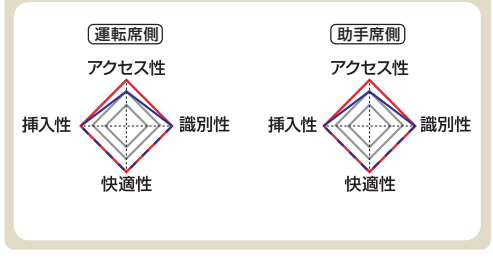
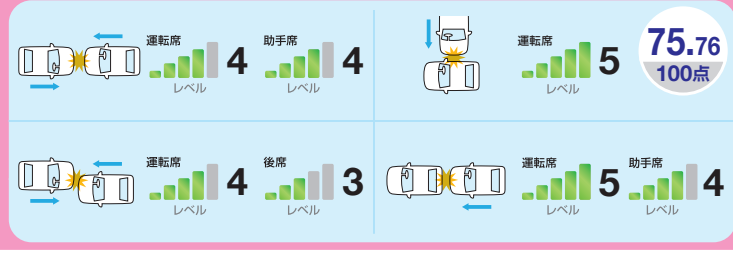
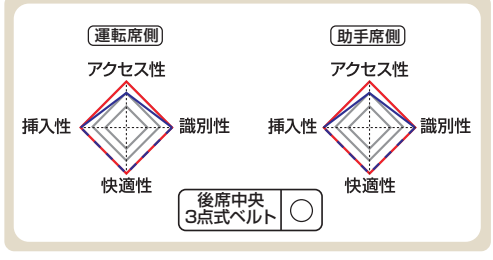
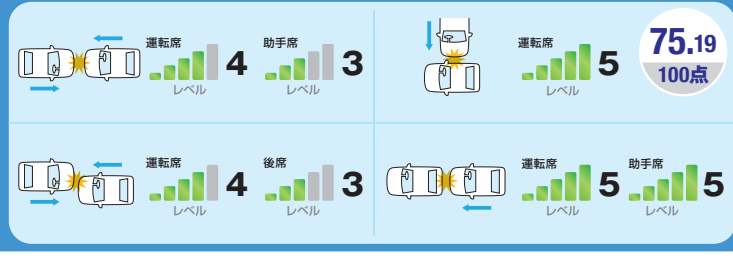
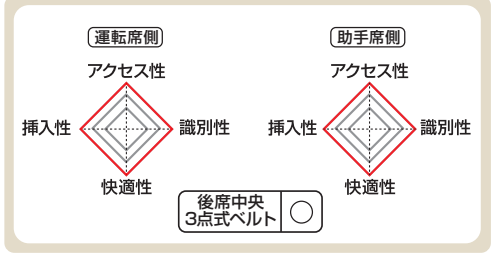
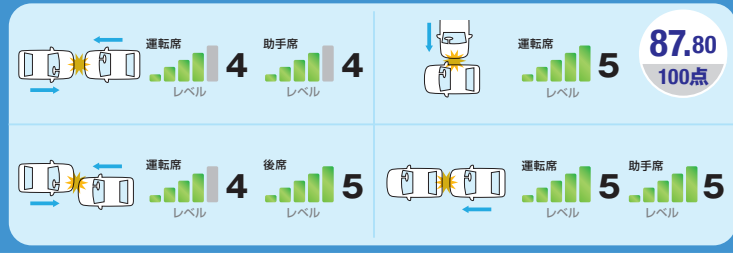
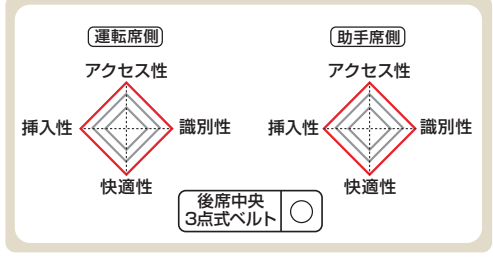
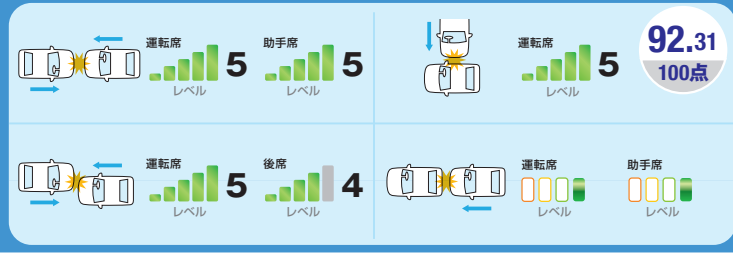
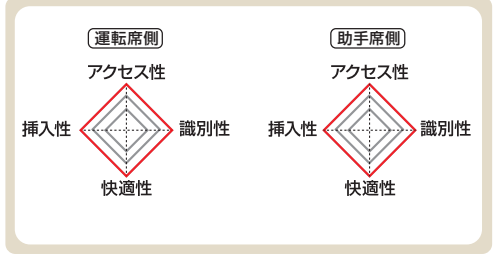
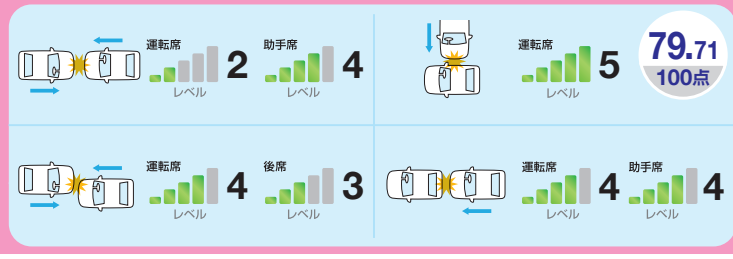
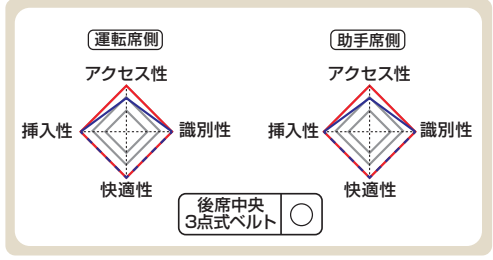
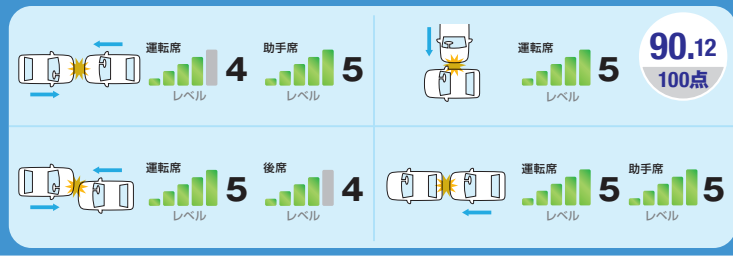
車種		衝突安全性能評価	歩行者保護性能評価
電気自動車等	ホンダ フリード/フリード+	 2016 衝突安全性能評価 ファイブスター賞 JNCAP 自動車アセスメント	72.73 100点 レベル 4 レベル 5
軽自動車	ホンダ N-ONE	 2016 衝突安全性能評価 先進安全車 JNCAP 自動車アセスメント	77.83 100点 レベル 3 レベル 4
電気自動車等	レクサス CT200h	 2012-2013 JNCAP FIVE STAR AWARD 衝突安全性能評価 ファイブスター賞 JNCAP 自動車アセスメント	83.35 100点 レベル 4 レベル 4
乗用車	スズキ スイフト	 2017 JNCAP FIVE STAR AWARD 衝突安全性能評価 ファイブスター賞 JNCAP 自動車アセスメント	78.87 100点 レベル 4 レベル 5
乗用車	スズキ イグニス	 2016 衝突安全性能評価 先進安全車 JNCAP 自動車アセスメント	76.97 100点 レベル 4 レベル 5
軽自動車	スズキ ワゴンR/ワゴンRスティングレー マツダ フレア	 2017 衝突安全性能評価 先進安全車 JNCAP 自動車アセスメント	73.42 100点 レベル 4 レベル 5
軽自動車	スズキ ハスラー マツダ フレアクロスオーバー	 2016 衝突安全性能評価 先進安全車 JNCAP 自動車アセスメント	82.23 100点 レベル 4 レベル 4

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

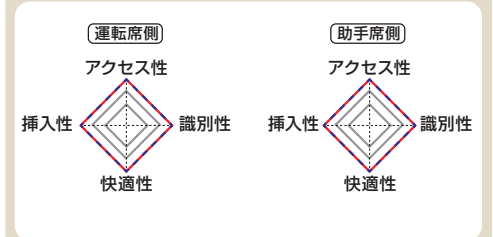
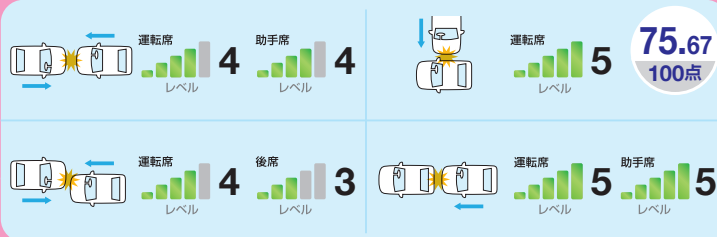
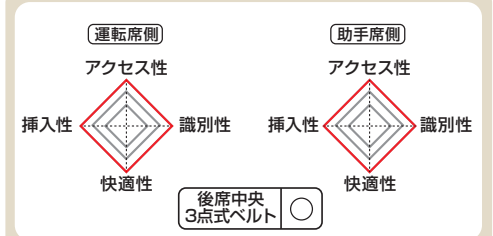
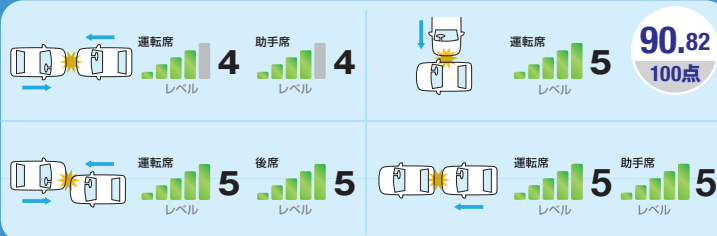
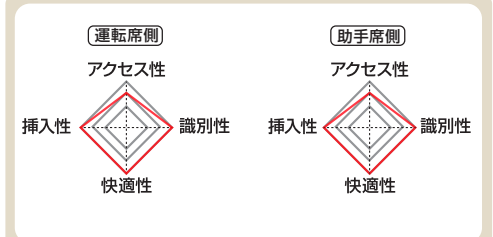
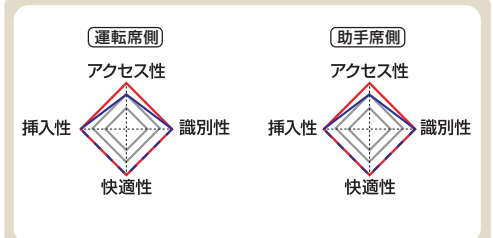
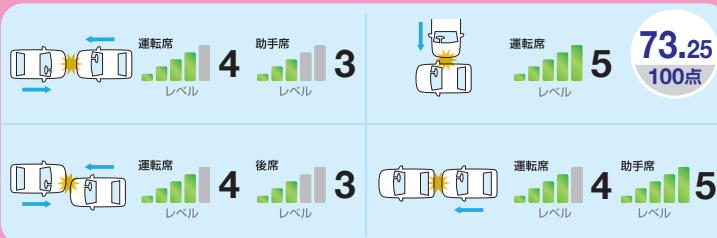
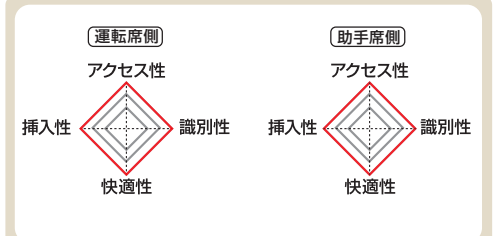
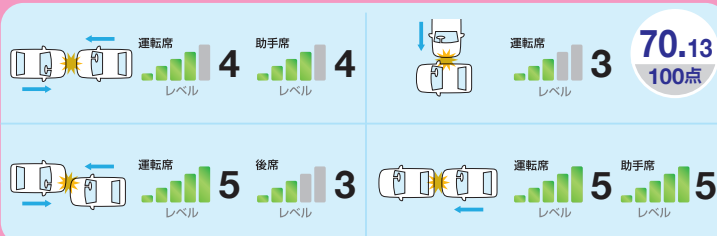
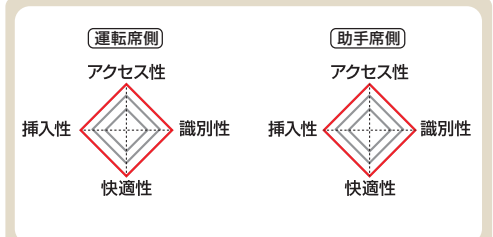
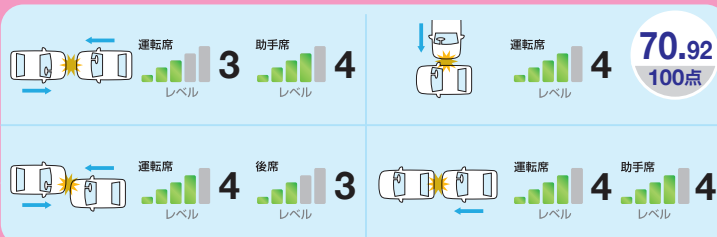
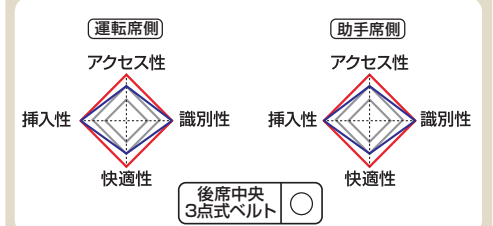
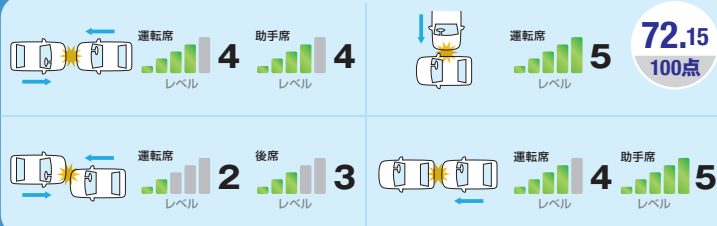
車種		衝突安全性評価	歩行者保護性能評価
 スズキ ソリオ/ソリオバンディット 三菱 デリカD:2/デリカD:2カスタム		 159.4点	 83.33 100点 
 スズキ アルトラパン		 158.4点	 83.56 100点 
 スズキ アルト マツダ キャロル		 158.2点	 84.16 100点 
 スズキ スペースシア/スペースシアカスタム マツダ フレアワゴン/フレアワゴンカスタムスタイル		 157.6点*	 68.49 100点 
 スズキ エブリイ 日産 NV100クリッパー-リオ/NV100クリッパー マツダ スクラム 三菱 タウンボックス/ミニキャブバン		 148.0点	 79.90 100点 
 フォルクスワーゲン ゴルフ	 	 176.7点	 80.89 100点 
 ダイハツ キャスト トヨタ ピクシス ジョイ		 166.0点*	 75.81 100点 

*歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



2017年度以前の評価結果

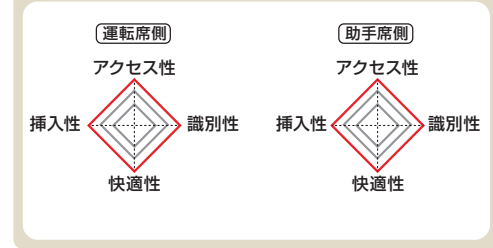
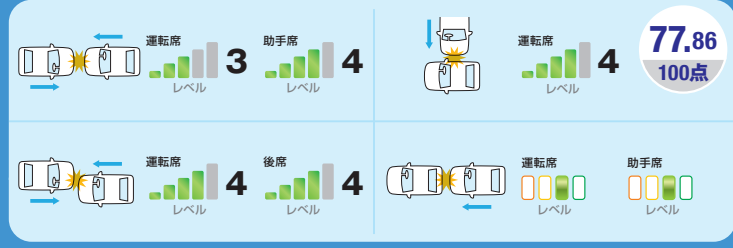
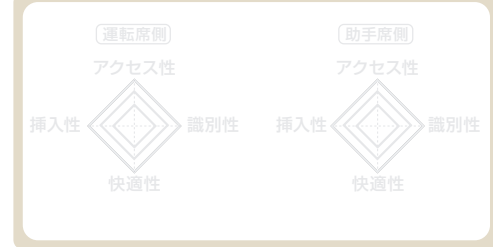
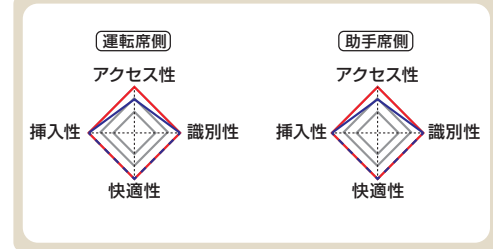
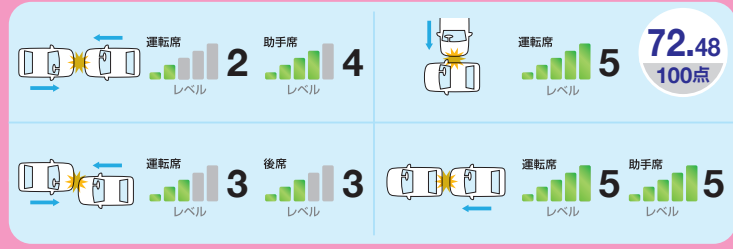
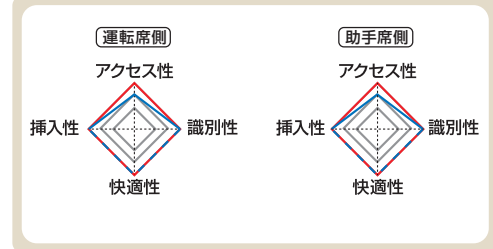
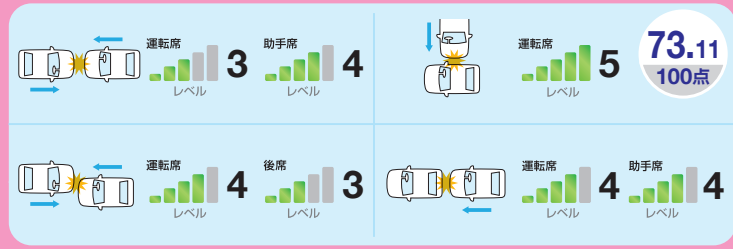
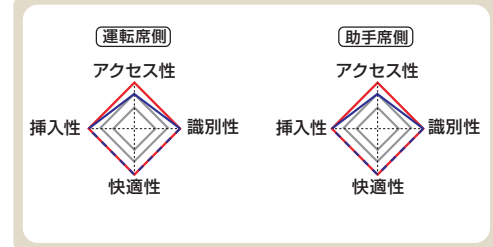
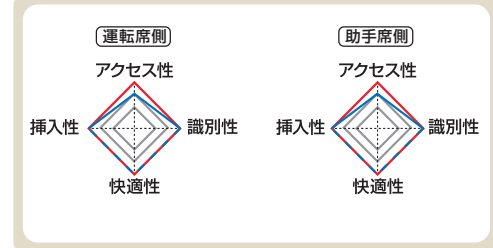
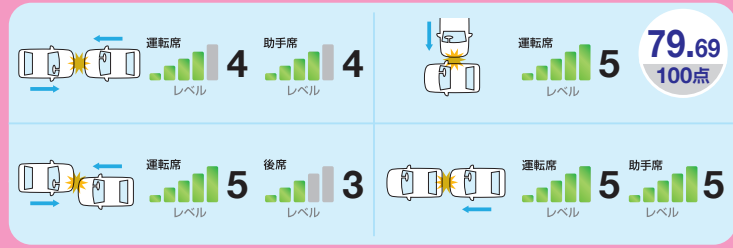
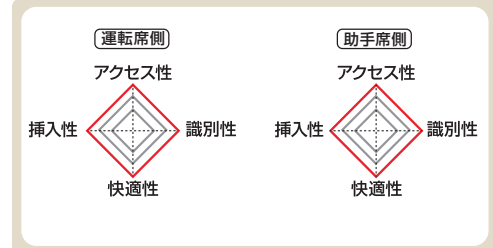
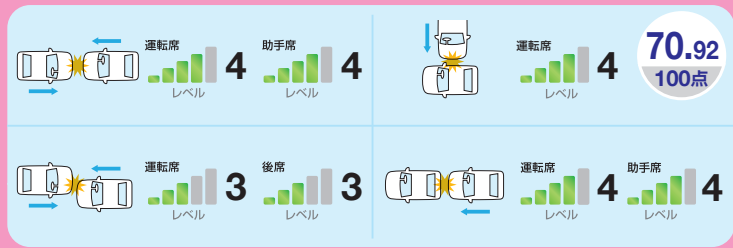
車種		衝突安全性能評価	歩行者保護性能評価
軽自動車	ダイハツ ミライース スバル プレオ プラス トヨタ ピクシス エポック	 165.7点※ ★★★★★	85.97 / 100点 歩行者保護レベル: 5 乗員保護レベル: 5
軽自動車	ダイハツ ムーヴ カスタム/ムーヴ スバル ステラ カスタム/ステラ	 165.5点 ★★★★★	81.84 / 100点 歩行者保護レベル: 4 乗員保護レベル: 4
軽自動車	ダイハツ タント カスタム/タント スバル シフォン カスタム/シフォン	 160.5点 ★★★★★	81.58 / 100点 歩行者保護レベル: 4 乗員保護レベル: 4
軽自動車	ダイハツ ムーヴ キャンバス	 160.5点※ ★★★★★	73.56 / 100点 歩行者保護レベル: 4 乗員保護レベル: 5
軽自動車	ダイハツ ウェイク トヨタ ピクシス メガ	 159.2点※ ★★★★★	69.07 / 100点 歩行者保護レベル: 3 乗員保護レベル: 5
軽自動車	ダイハツ ハイゼット カーゴ/アトレーワゴン スバル サンバー バン/ディアス ワゴン トヨタ ピクシス バン	2010年度以前の 評価車種です。	歩行者保護レベル: 2 乗員保護レベル: 5
乗用車	アウディ A1	 157.9点 ★★★★★	75.13 / 100点 歩行者保護レベル: 3 乗員保護レベル: 4

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、2011年度から2015年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※2010年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

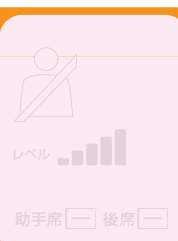
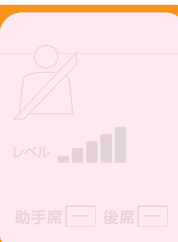
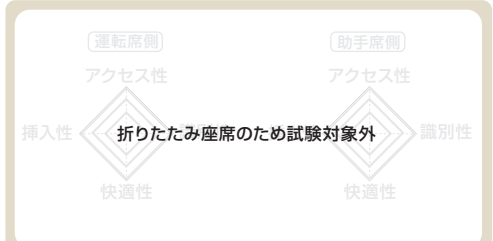
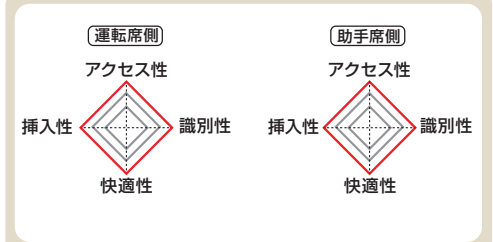
2017年度以前の評価結果

車種		衝突安全性能評価	歩行者保護性能評価
<p>乗用車</p> <p>フィアット 500/500C アバルト 595/595C</p>  	<p>★★★★☆</p> <p>138.6点</p>	<p>64.96 100点</p> <p>レベル 2</p> <p>レベル 4</p>	
<p>商用車</p> <p>トヨタ プロボックス/サクシード マツダ ファミリアバン</p>  	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 2</p> <p>レベル</p>	
<p>商用車</p> <p>日産 NV200バネット</p>  	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 4</p> <p>レベル</p>	
<p>商用車</p> <p>日産 NV150 AD</p>  	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 3</p> <p>レベル</p>	
<p>商用車</p> <p>マツダ ボンゴバン</p>  	<p>2010年度以前の 評価車種です。</p>	<p>レベル 2</p> <p>レベル</p>	

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※2010年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

より安全な自動車・ チャイルドシートの普及のために

自動車アセスメントによる安全情報の提供

より安全な自動車・チャイルドシートの普及のため、自動車アセスメント事業として、一般に販売されている自動車やチャイルドシートに対して、安全性能評価を行っています。

皆さんの車やチャイルドシートも、WEBで安全性能評価が確認できます。

豊富な動画コンテンツ

使いやすい条件検索

わかりやすい質問コーナー

<http://www.nasva.go.jp/mamoru/imdex.html>

自動車アセスメントは車に乗る人が安全な車選びがしやすいように、そして車を作るメーカーがより安全な車の開発を促進するように実施しています。

自動車アセスメントの各種パンフレット



予防安全性能評価パンフレット

衝突しそうな場合に自動車が警報を発する、あるいは自動でブレーキをかけるといった、事故を未然に防ぐ予防安全技術の安全性を評価する試験を2014年度より導入し、その結果を予防安全性能評価として公表しています。

2014年度の導入以来、評価対象装置を順次追加するなど年々拡充を図っており、2018年度より新たに被害軽減ブレーキ（対歩行者・夜間街灯あり）、高機能前照灯及びペダル踏間違い装置の評価を開始しました。

予防安全性能評価は多くの皆様に、より安全な自動車を選んでいただくことで交通事故を減らしていこうとするものです。同時にそれぞれの自動車の評価結果を公表することで自動車メーカーに、より安全な自動車の開発を促すものでもあります。



被害軽減ブレーキ（対車両）



被害軽減ブレーキ（対歩行者）



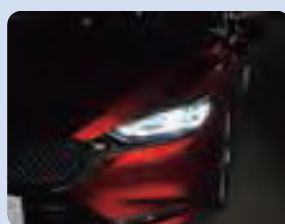
衝突被害軽減ブレーキ
（対歩行者・夜間街灯あり）



車線逸脱抑制



後方視界情報



高機能前照灯



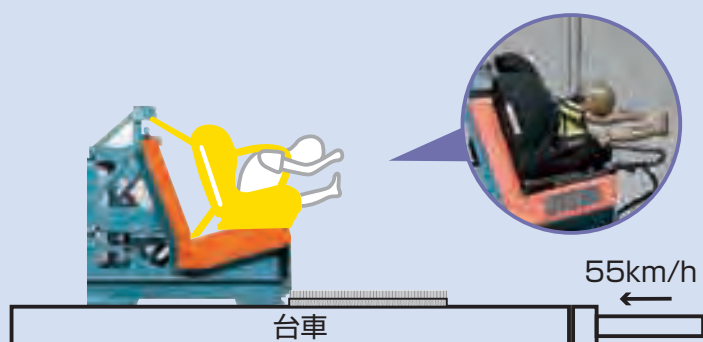
ペダル踏み間違い

チャイルドシート安全比較BOOK

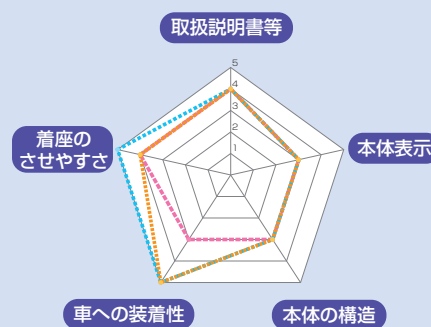


市販のチャイルドシートについて、前面衝突試験と使用性について評価試験を行い、その結果を安全性能評価として公表しています。

このパンフレットをご活用いただくことにより、大切なお子さまのために、より安全なチャイルドシートを選んでいただくことを願っています。



前面衝突試験



使用性評価試験

事故自動通報システム機能評価のパンフレット

近年、生命に危険を及ぼすような重大な交通事故が発生した場合に、救急に必要な情報を自動的に通報する「事故自動通報システム」を備えた自動車が販売されています。

このシステムによって自動的に通報が行われた場合は、事故発生から医師による治療開始までの時間が短縮できるため、交通事故による死者数を減らせる可能性があります。

自動車事故対策機構では、事故自動通報システムの機能を評価し、公表しております。



パンフレットの入手方法

自動車アセスメントの各種パンフレットは、自動車事故対策機構の全国50箇所の支所で無料配布しています。また、自動車事故対策機構のホームページ上ですべてご覧になれます。 www.nasva.go.jp/mamoru/

独立行政法人自動車事故対策機構とは



私ども自動車事故対策機構は、人と車の共存を理念として、自動車事故の発生防止及びその被害者への援護のために、次の業務を行っております。



私たちは自動車事故対策の専門機関です。

NASVA(ナスバ)は、自賠責保険・共済の国の運用益事業の主たる実施主体です。

ナスバは、自動車事故被害者を「支える」、自動車事故を「防ぐ」、自動車事故から「守る」の3つの業務を一体的に実施しています。



NASVAとは、独立行政法人自動車事故対策機構の英訳名(National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid)の略称で、「ナスバ」と発音します。

試験映像などについてはインターネットでご覧になれます。



独立行政法人 自動車事故対策機構 自動車アセスメント部
〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト19階
TEL:03(5608)7587 FAX:03(5608)8610

ホームページ

www.nasva.go.jp/mamoru/

●キーワード検索で

自動車アセスメント



検索

